トラリピを注文してみるの巻

トラリピ上級者になろうの巻

トラリピをメンテナンスしようの巻

戦略的な仕掛け方とリスク管理を学ぼう！

トラリピ・パーフェクトガイド

MONEY SQUARE
毎日が財産になる

目次

複数のトラリピを仕掛けたい …… 4

①1つの通貨ペアだけでトラリピを運用したい …… 8

②複数通貨ペアでトラリピを運用したい …… 12

複数のトラリピを仕掛けるときによくある問い合わせ …… 17

ハーフ&ハーフ戦略って何？ …… 21

ハーフ&ハーフ戦略の効果 …… 23

ハーフ&ハーフ戦略のデメリット …… 30

ハーフ&ハーフ戦略のリスク管理 …… 32

ハーフ&ハーフ戦略のよくある問い合わせ …… 37

円が絡まない通貨ペアを取引したい …… 44

リスクシミュレーションを使いたい …… 50

①画面の見方 …… 51

②操作メニュー …… 52

③リスクシミュレーションの注意事項 …… 54

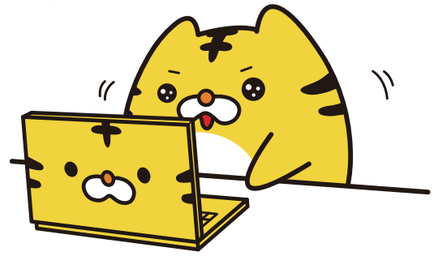
④リスクシミュレーションの活用例 …… 66

トラリピ戦略管理を使いたい …… 74

「トラリピ上級者になろうの巻」は

こんな方におすすめ！

- ☑ トラリピを2つ以上仕掛けてみたい方
- ☑ ホームページ等で目にする
  ハーフ&ハーフ戦略を
  仕掛けてみたい方

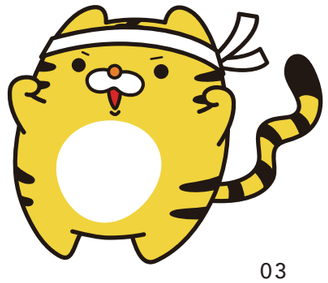


トラリピ注文の設定項目について分からない方は…
⟶『トラリピを注文してみるの巻』がおすすめ！

トラリピの取消方法、トラリピの修正方法が分からない方は…
⟶『トラリピをメンテナンスしようの巻』がおすすめ！

「トラリピ上級者になろうの巻」では
トラリピを複数仕掛ける方法や
売りと買い両方のトラリピを仕掛ける
ハーフ&ハーフ戦略、さらには
リスクシミュレーションの使い方について
説明するがぅ！

マネースクエアのマスコットキャラクター
トラリピくん



複数のトラリピを仕掛けたい

トラリピ注文は1つだけではなくて複数仕掛けることができます。
ただし、注文が増えた分、証拠金も必要なので、
あくまで、**口座の余力の範囲内で**トラリピを追加することができます。

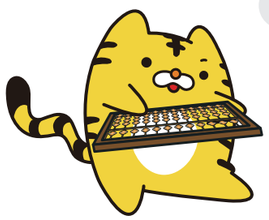
口座の余力って何？どこで確認できるの？

取引画面「口座状況」の【発注可能額】が口座の余力です。
【発注可能額】の範囲内で追加の注文ができます。

有効証拠金	証拠金維持率	（必要証拠金）	（発注証拠金）	総必要証拠金	発注可能額
3,004,906	95,001%	3,163	0	3,163	3,001,743

【有効証拠金－総必要証拠金】にて算出されます。
※出金予約がある場合はその分が控除されています。

口座の資金のうち、
取引に使っていない分が
発注可能額がぅ！



さきほどの「口座状況」画像の場合、発注可能額が「3,001,743円」と表示されているので、
追加で注文するトラリピに係る証拠金が3,001,743円以内であれば注文できるということです。

一方、発注可能額の範囲内であれば注文可能ですが、目一杯注文してしまうと、
余力のない状態（口座の資金を全て取引に使う状態）になるので、
ロスカットを回避するなど、安心して取引するためには、発注可能額を目一杯使わず、
余力は残して注文したほうがよいでしょう。

トラリピを追加するときのイメージ

Aさん

100万円預けていて、
80万円（発注可能額）使っていない資金があるから
トラリピを追加しよう！

Aさんの口座状況

有効証拠金	総必要証拠金	発注可能額
100万円	20万円	80万円

▼

トラリピを注文（追加）！

▼

複数のトラリピを仕掛けたい

有効証拠金	総必要証拠金	発注可能額
100万円	40万円	60万円

トラリピ注文を追加したことで
発注可能額が80万円から60万円に減少

Aさん

発注可能額をどれだけ残すかはお客様の判断となりますが、
注文量が多ければ多いほど、レートの動きで評価損益が大きく動くため、
発注可能額は多めに残しておいたほうが安全です。

例えば上記例のように100万円の資金に対して発注可能額が60万円残っている場合は、
取引に4割の資金を使っている状況ですが、
1,000万円の資金に対して発注可能額が60万円の場合であれば、
9割以上を取引に使っている状況となりますので、
資金に応じて発注可能額を残すようにしましょう。

続いてトラリピを追加する場合に気を付けるポイントを

①1つの通貨ペアでトラリピを複数注文する場合
②複数の通貨ペアでトラリピを注文する場合

に分けて説明します。

トラリピFXとトラリピCFDの口座管理はそれぞれ行われます!

トラリピFXとトラリピCFD口座は「一つのアプリ」「一つのブラウザ」で取引できますが、
口座（資金）管理は別々で、発注可能額や維持率等もそれぞれ表示されます
（ロスカットもそれぞれの口座で判定・執行されます）。

以降のページではトラリピFX口座で複数のトラリピ注文を仕掛けることについて
説明していきます。

※口座のイメージ

	発注可能額
トラリピFX	100万
トラリピCFD	50万

①1つの通貨ペアだけでトラリピを運用したい

まず、1つの通貨ペアでトラリピを追加することについて説明します。

ちなみに、ここで説明するのは **同じ通貨ペア** かつ **同じ売買** のトラリピを
追加する場合についてです。

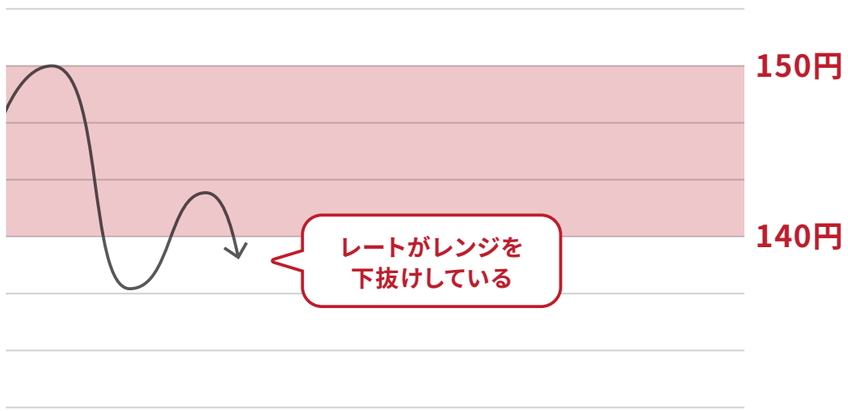
同じ通貨ペアで売りと買いを仕掛ける場合
⟶ P21の **ハーフ&ハーフ戦略** をご確認ください。

1つの通貨ペアで複数のトラリピを仕掛ける

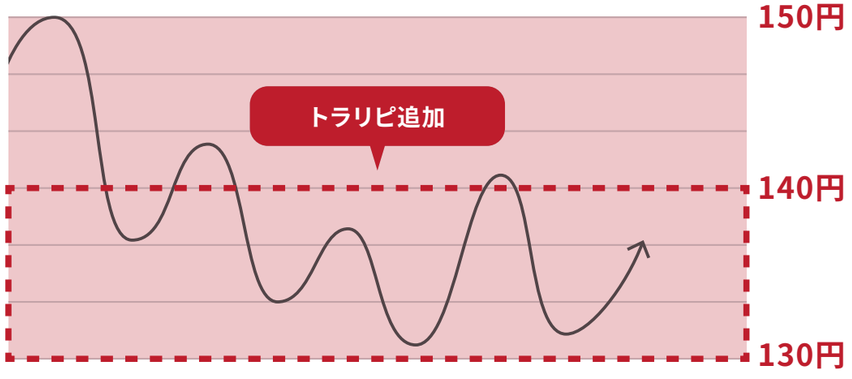
ここではよくある2つの例をご紹介します。

レンジを広げるために複数のトラリピを仕掛ける

米ドル/円の買いトラリピを140円〜150円に仕掛けているが、
レートが下がってきたので、140円より下にもトラリピを仕掛けたい。

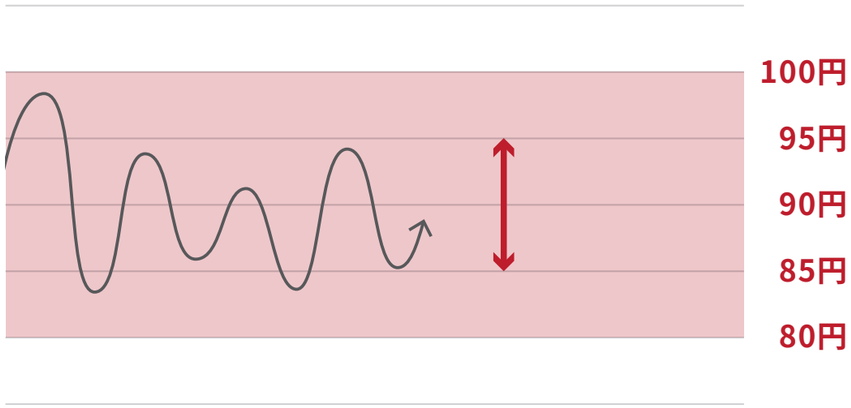


130円〜140円の買いトラリピを追加したことで
130円〜150円までトラリピの稼働範囲を広げることができた。



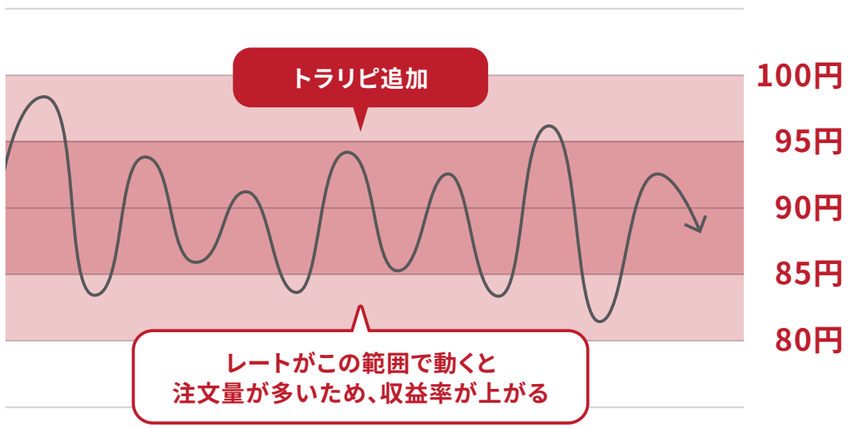
レートがよく動く範囲だけトラリピの注文を増やしたい

豪ドル/円の買いトラリピを80円〜100円で仕掛けているが、
85円〜95円でよく動くので、その範囲のトラリピを増やしたい。



①1つの通貨ペアだけでトラリピを運用したい

85円〜95円の買いトラリピを追加したことで、
この範囲だけトラリピの量を増やすことができた。



他にも、今仕掛けているトラリピがよく成立しているので、
全く同じ内容のトラリピを追加してみるといった考え方もあります。

1つの通貨ペアでトラリピを運用することのメリット

①1つの通貨ペアのレートの動きだけで損益が計算できるので、わかりやすい
②ロスカットレートを算出できる

1つの通貨ペアのみで運用している場合、そのレートの動きだけが損益に影響します。
このため、運用しているレートがいくらになったらロスカットが執行されるのか（ロスカットレート）
を確認して、リスク管理を行えます。
また、売買の別と通貨ペアが同じであれば、
複数のトラリピを仕掛けていてもリスクシミュレーション（P50）を利用して
ロスカットレートを確認することができます。

1つの通貨ペアでトラリピを運用することのデメリット

運用している通貨ペアで相場の急変が起きたときに口座状況が大きく動く

1つの通貨ペアだけに集中していると、
その通貨ペアが急落や急騰したときに一気に評価損益が変わります。
特に評価損が出る方向にレートが急変した場合は一気に証拠金維持率が下がり、
100%を下回るとロスカットが執行されます。

シンプルに運用したい場合は
単一通貨ペア、
なるべくリスクを分散させて
トラリピを運用したい場合は
複数通貨ペアがおすすめがぅ

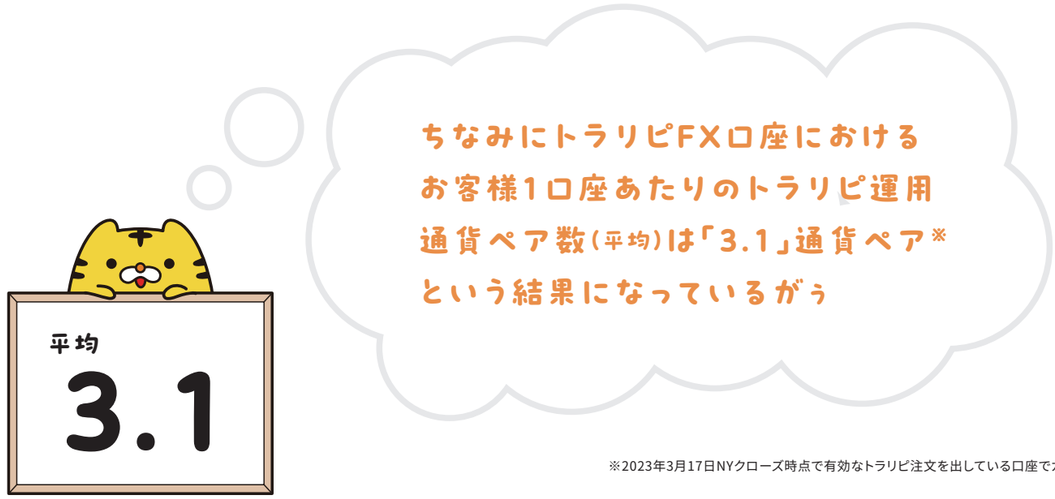
このように、1つの通貨ペアでトラリピを複数運用する場合、
メリット・デメリットがありますので、トラリピを追加する際のご参考にしてください。

②複数通貨ペアでトラリピを運用したい

複数通貨ペアの説明に入る前に…

トラリピFX口座では、通貨ペア毎やトラリピ毎にお預けいただいた資金が振り分けられるのではなく、
FX口座全体で運用いただくことになります。
重要なポイントなのでしっかり理解しましょう。

それでは複数の通貨ペアでトラリピを仕掛けることについて説明します。



※2023年3月17日NYクローズ時点で有効なトラリピ注文を出している口座でカウント。

複数通貨ペアでトラリピを運用することのメリット

損失のリスクを抑えることができる

複数通貨ペアでトラリピの運用を行うことで、
損失リスクを抑える(為替変動リスクを分散させる)効果が期待できます。

単一通貨ペア

米ドル/円
買いポジション60万通貨

米ドル/円
60万通貨(買)　-30万円

口座の評価損益：-30万円

▼

円高によって米ドル/円は急落したが、
円が絡まない豪ドル/NZドルは横這いで推移した場合

口座の評価損益：-120万円

米ドル/円
60万通貨(買)　-120万円

複数通貨ペア

米ドル/円、豪ドル/NZドル
買いポジションをそれぞれ30万通貨

米ドル/円
30万通貨(買)　-15万円

豪ドル/NZドル
30万通貨(買)　+20万円

口座の評価損益：+5万円

▼

口座の評価損益：-40万円

米ドル/円
30万通貨(買)　-60万円

豪ドル/NZドル
30万通貨(買)　+20万円

米ドル/円の評価損は増えたものの、
豪ドル/NZドルは評価損益が変わらず、
口座全体の評価損益について、
米ドル/円のみで運用していた場合よりも
評価損の拡大を抑えることができた

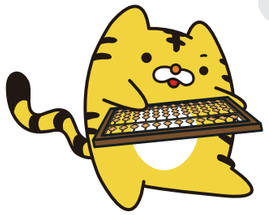
②複数通貨ペアでトラリピを運用したい

このように複数通貨ペアでトラリピを仕掛けた場合、リスクを分散させることができます。
ただし、**リスクを分散させるためには、通貨ペアの組み合わせが重要**です。

例えば同じような動きをする通貨ペア同士で運用すると、異なる通貨ペアで運用しても
同じタイミングで損が出てしまい、リスク分散できません。

どのように通貨ペアを選ぶのか、ポイントを説明します。

他の通貨ペアで利益が出ていたら、
その分で口座全体の損失をカバー
することもできるがぅ



複数通貨ペア運用するときの通貨ペアの選び方

先ほどご説明したように、同じような動きをする通貨ペア同士では
複数通貨ペアで運用していても同じときに評価損が拡大してしまうため、
リスク分散できません。

同じような動きをしやすい通貨ペア

例えば、**対円通貨ペア**（米ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円等）は
円が強いか・弱いかによって、同じ方向に動くことがあります。

同様に**対米ドル通貨ペア**（ユーロ/米ドル、豪ドル/米ドル、NZドル/米ドル）も
米ドルが強いか・弱いかによって同じ方向にレートが動くことがあります。

また、**オーストラリア**（豪ドル）と**ニュージーランド**（NZドル）、**欧州**（ユーロ）と
英国（英ポンド）のように、地理的・政治的・経済的な結びつきが強く、金融政策の
スタンスも似通った傾向にある国同士の通貨ペアはレンジ相場になりやすい傾向が
あります。

上記のような通貨ペアの特徴を把握したうえで組み合わせを考えましょう

例えば下記のような組み合わせを検討してみるのもよいかもしれません。

●対円の通貨ペア同士でトラリピを仕掛けたい場合、
一方を「買い」、もう一方を「売り」で仕掛けることで、
円安方向・円高方向のどちらにレートが動いてもリスク分散効果が期待できる

●経済的・政治的な結びつきがそれほど強くない通貨ペア同士で組み合わせる
（例えばオセアニア圏の豪ドル/NZドルと北米大陸同士の米ドル/カナダドル等）

②複数通貨ペアでトラリピを運用したい

複数通貨ペアでトラリピを運用することのデメリット

ロスカットレートが算出できない

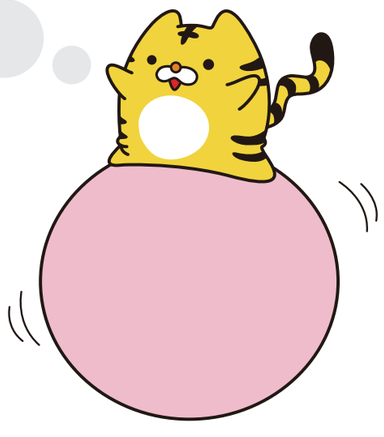
複数通貨ペアで運用するとリスクを分散できる一方で、
ロスカットレートによるリスク管理はできなくなります。
（ロスカットレートが算出できないことについてはP56で紹介しています）

このため、複数通貨ペアでトラリピを運用する場合、
リスク管理は**証拠金維持率**で確認してください。

証拠金維持率は100%を下回った時点でロスカットが執行されるので、
100%に近づいてきたらポジションを少し減らしたり（決済する）、
入金したりすることで証拠金維持率を回復させることができます。

また、リスクシミュレーション（P50）でレートを動かしてみて、
証拠金維持率の変動具合を確認することもリスク管理のうえで役に立ちます。

**複数通貨ペアでトラリピを運用する場合は、
組み合わせる通貨ペアの特徴を把握して、
証拠金維持率でリスク管理するがぅ！**

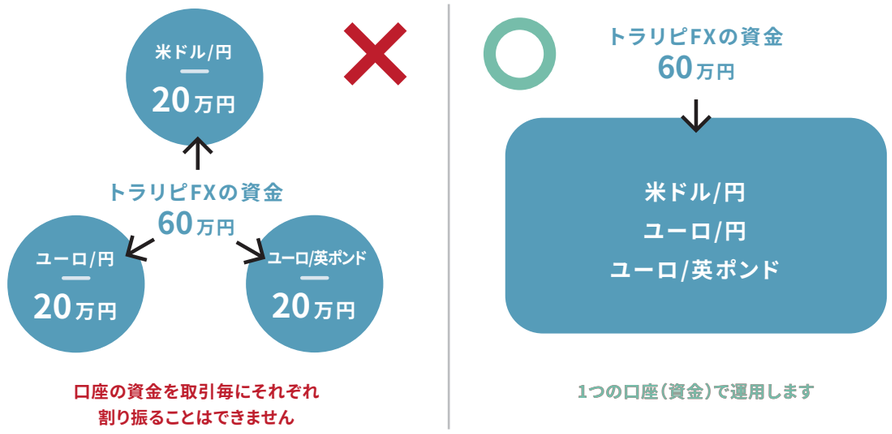


最後に複数トラリピを仕掛けることについて、
よくいただくお問い合わせをQA形式で解説していきます。

複数のトラリピを仕掛けるときによくある問い合わせ

Q. トラリピFX口座内の資金をトラリピごとに分けられますか？

A. 個々のトラリピにそれぞれ任意の資金を振り分ける（指定する）ことはできません。



Q. 証拠金維持率はトラリピごとに算出されますか？

A. トラリピ毎（注文毎）には算出されず、トラリピFX口座全体で算出されます。
※トラリピFXとトラリピCFDの証拠金維持率はそれぞれ算出されます。

Q. トラリピFX口座で設定しているいずれかのトラリピの評価損が拡大したことで証拠金維持率が低下してロスカットが執行された場合、他のトラリピもロスカットされますか？

A. ロスカットされます。
※トラリピFX口座とトラリピCFD口座のロスカット判定はそれぞれ行われます。

複数のトラリピを仕掛けるときによくある問い合わせ

Q. 複数のトラリピを仕掛ける場合、ロスカットレートは「トラリピのリスクを試算」で確認できますか？

A. できません。
「トラリピのリスクを試算」は、試算を行っているトラリピのみを対象としてロスカットレート等が算出されます。

口座内で複数のトラリピを仕掛けている場合は「リスクシミュレーション」（P.50）を活用してロスカットレート等を確認してください。

※複数の通貨ペアでトラリピを運用している場合は、
リスクシミュレーションを用いてもロスカットレートは確認できません。
口座のリスク管理は、証拠金維持率を目安に行いましょう。

「トラリピのリスクを試算」で複数のトラリピを仕掛ける場合に確認する項目

注文に必要な最小資金

入力中のトラリピを設定した場合に、すべてのポジション（買いトラリピはレンジ下限まで、売りトラリピはレンジ上限まで）が成立した状態で想定される評価損と必要証拠金の合計金額です。
この金額が発注可能額（口座余力を表します）に対してどの程度かをご確認ください。

なお、「トラリピ戦略管理」（P.74）を使用することで、複数のトラリピ（同一通貨ペアに限ります）に係る必要資金を確認できます。

1円※動くごとの損益（※通貨ペア／銘柄によって異なります）

入力中のトラリピを設定した場合に、すべてのポジション（買いトラリピはレンジ下限まで、売りトラリピはレンジ上限まで）が成立した状態でレートが1円動いたときの評価損益がどの程度増減するかを試算した金額です。

他のトラリピで発生している評価損益と合わせて確認してください。

（ストップロスを設定する場合）ストップロス見積額

入力中のトラリピにおいて全てのトラップ（ポジション）が成立した状態でストップロスが執行された場合の損失見積額です。

複数のトラリピを仕掛けるときによくある問い合わせ　ハーフ＆ハーフ戦略って何？

一方、**「運用予定額」を入力して算出される**

「ロスカットレート（概算）」「ロスカット見積額」

については複数トラリピを仕掛けている場合、
実際の取引とは異なる試算結果となるためご注意ください。

「トラリピのリスクを試算」では1つのトラリピの設定において
「運用予定額」で取引した場合の試算結果ですが、実際の取引の場合、
トラリピFX口座全体で仕掛けているすべてのトラリピを反映して口座の管理が行われており、
証拠金維持率等が算出されます。
※トラリピCFDは別管理となります。

単一通貨ペアで複数のトラリピを仕掛ける場合や、
複数の通貨ペアでトラリピを仕掛ける場合について説明してきましたが、
いよいよ戦略的なトラリピの仕掛け方である
「トラリピ・ハーフ&ハーフ（単一通貨ペアで売りと買いを仕掛けること）」について
説明していきます。

トラリピ・ハーフ&ハーフ戦略とは

レンジを2つに分けて**高いレンジに売りトラリピ・低いレンジに買いトラリピ**を仕掛ける戦略

例えば、米ドル/円で130円～137円にトラリピを仕掛けようとした場合、
レンジを分けて**高いレンジ（134円～137円）に売りトラリピ**、
低いレンジ（130円～133円）に買いトラリピ
を仕掛けるとハーフ&ハーフ戦略となります。

ハーフ&ハーフ戦略って何？

ハーフ&ハーフ戦略ってどうやって注文するの？

取引画面の注文種別の中に「ハーフ&ハーフ」という注文方法はありません。
お客様自身で売りトラリピと買いトラリピをそれぞれ仕掛ける
（高いレンジに売りトラリピ、低いレンジに買いトラリピ）ことでハーフ&ハーフ戦略になります。

STEP1

クリック

売りトラリピを注文

※買いトラリピから注文しても問題ありません。

売りトラリピを仕掛けるレンジを
入力して注文実行

STEP2

クリック

買いトラリピを注文

買いトラリピを仕掛けるレンジを
入力して注文実行

ハーフ&ハーフ戦略の効果

USD/JPYトラリピ一覧

	注文レンジ
売	134.000～137.000
買	130.000～133.000

トラリピ管理表では
売りトラリピと買いトラリピが別々に表示されます。

レンジ幅や利益値幅といったトラリピの設定項目は
トラリピパーフェクトガイド「トラリピを注文してみるの巻」で案内していますので、
是非ご参照ください。

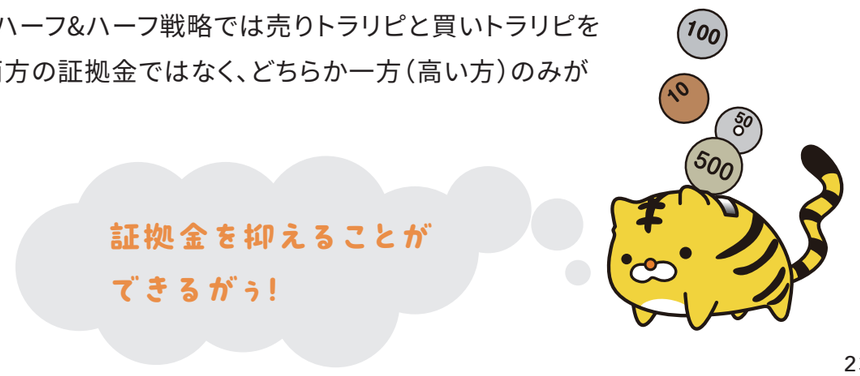
ハーフ&ハーフ戦略はどんな効果が期待できるの？

1.証拠金を抑えることができる
2.レンジ内での評価損を抑えることができる

1.証拠金を抑えることができる

トラリピFXでは**同一通貨ペアで、売りと買い双方の注文があるとき**は、
金額が高い方の証拠金のみ必要となります。

このようなルールのため、ハーフ&ハーフ戦略では売りトラリピと買いトラリピを仕掛けた場合、売り買い両方の証拠金ではなく、どちらか一方（高い方）のみが必要な証拠金となります。



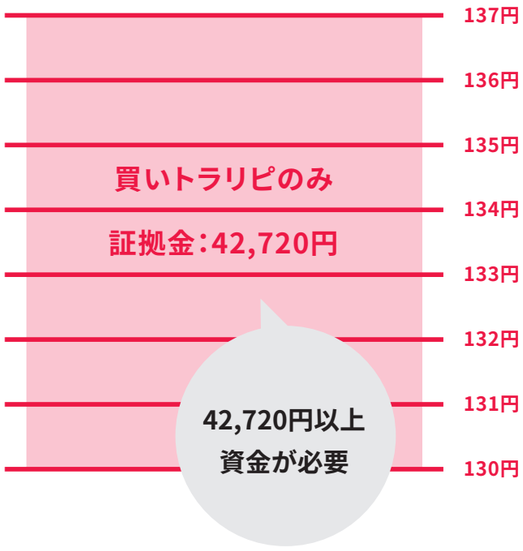
ハーフ&ハーフ戦略の効果

米ドル/円のトラリピ
レンジ：130～137円　トラップ本数8本　1本あたり1,000通貨

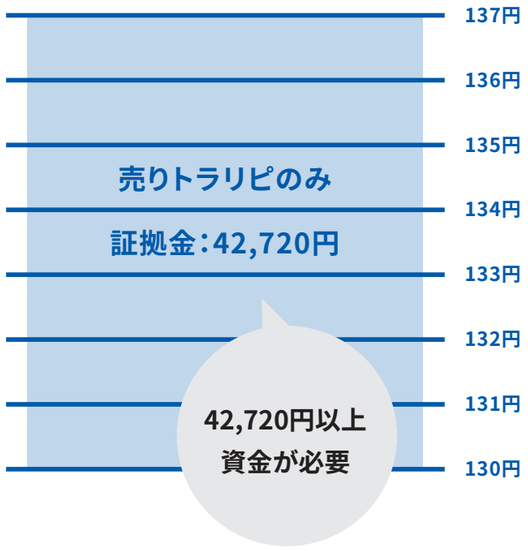
上記設定で
　◯買いトラリピのみ
　◯売りトラリピのみ
　◯売りトラリピと買いトラリピ（ハーフ&ハーフ戦略）
の3つの場合で証拠金を比較します。

※注文時にかかる証拠金（発注証拠金）をベースとして説明。

買いトラリピのみ注文する場合

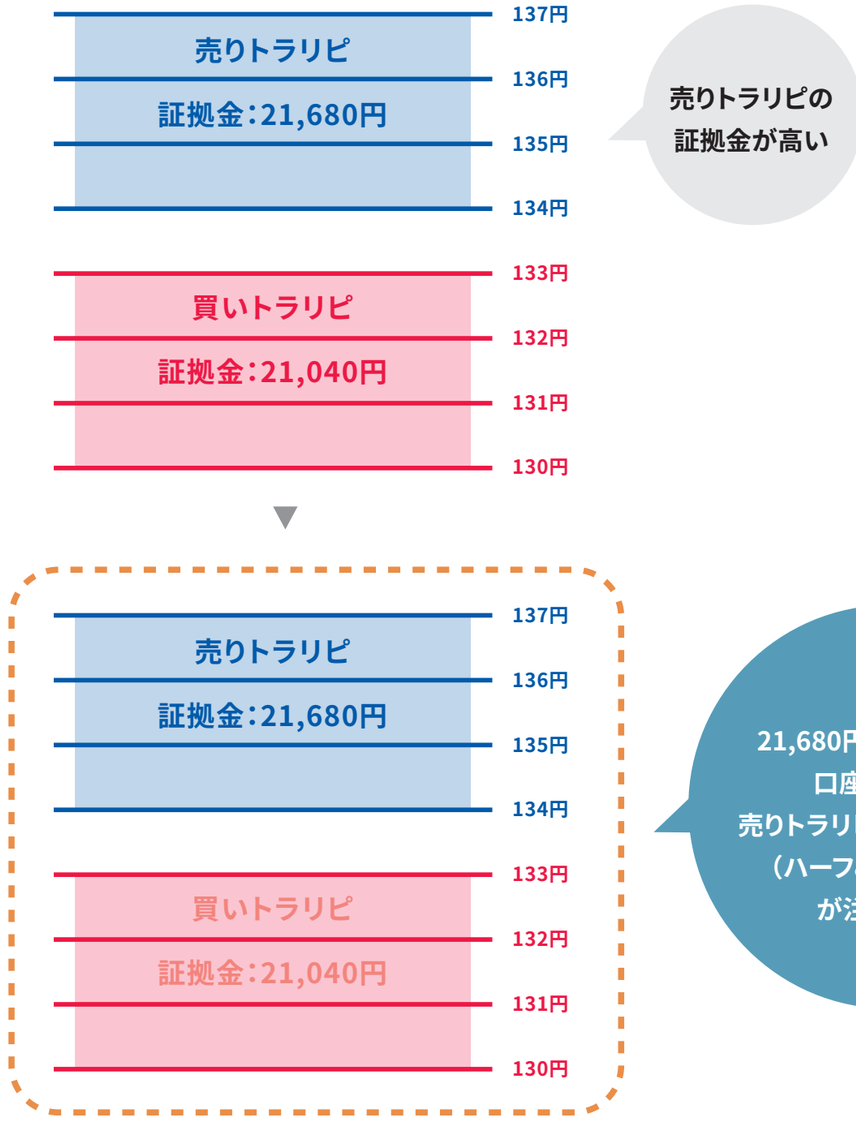


売りトラリピのみ注文する場合



ハーフ&ハーフ戦略を注文する場合

売りと買いの証拠金をそれぞれ計算すると…



ハーフ&ハーフ戦略の効果

高い方の証拠金だけ資金があれば注文できるの？

口座に高い方の証拠金額分だけ資金があれば
買いトラリピと売りトラリピ（ハーフ&ハーフ戦略）は注文可能です。
ただし、ハーフ&ハーフ戦略に限らず、口座の資金を目一杯証拠金に使ってしまうと、
口座の余力がない状態となりますので、余力は残してお取引いただくことをおすすめします。

買いトラリピを2つ注文した場合

1つ目の
買いトラリピを注文

口座の資金	証拠金
50万円	10万円

①買いトラリピ（証拠金10万）を注文

▼

2つ目の
買いトラリピを注文

口座の資金	証拠金
50万円	25万円

②買いトラリピ（証拠金15万）を注文

トラリピを追加注文した分、証拠金が増加

ハーフ&ハーフ戦略の場合

（同じ通貨ペアで売りと買いトラリピを注文）

売りトラリピを注文

口座の資金	証拠金
30万円	17万円

①売りトラリピ（証拠金17万）を注文

▼

買いトラリピを注文

口座の資金	証拠金
30万円	17万円

②買いトラリピ（証拠金15万）を注文

売りトラリピと買いトラリピの証拠金を合計すると
32万円（17万円+15万円）で口座の資金より大きくなりますが、
売りトラリピの証拠金（17万円）のみ適用されているので、
口座の資金30万円で注文できます。

ハーフ&ハーフ戦略の効果

2.レンジ内での評価損を抑えることができる

ハーフ&ハーフの場合、上のレンジに売りトラリピ、下のレンジに買いトラリピを仕掛けるので、
高いところで買いポジションを持たない、低いところで売りポジションを持たないことになります。

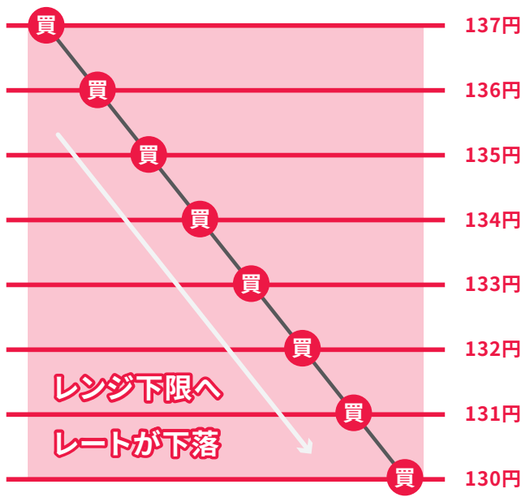
このため同じレンジで買いトラリピ（もしくは売りトラリピ）だけを仕掛ける場合よりも
評価損を抑える効果が期待できます。

レンジ下限での評価損を比較

米ドル/円のトラリピ
レンジ：130円～137円　トラップ本数8本　1本あたり1,000通貨　利益値幅1円

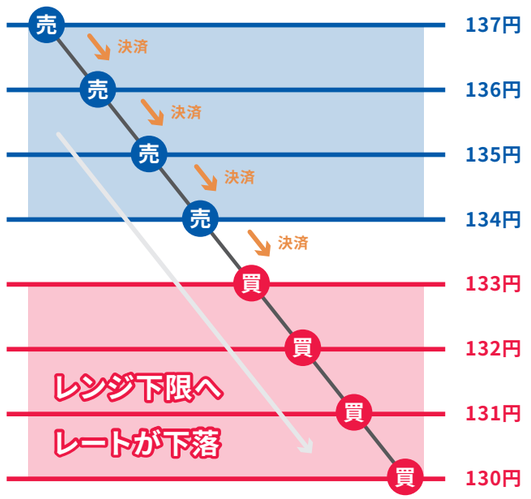
上記設定で買いトラリピのみ、売りトラリピと買いトラリピ（ハーフ&ハーフ戦略）の場合
でレンジ上限からレンジ下限（130円）までレートが動いたときの評価損を比較します。

買いトラリピのみ仕掛けた場合



米ドル/円のレートがレンジ下限の
130円まで下落したとき、
130円～137円の買いポジションに
発生している評価損益は
合計で **-28,000円**

ハーフ&ハーフ戦略の場合

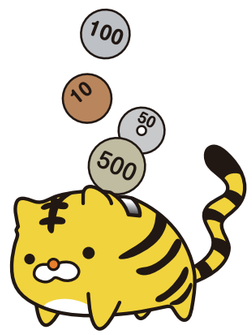


売りポジションは
レートの下落により
決済価格にそれぞれ到達すると
決済されます。

このため、**買いトラリピ**のレンジまで
下落したときには、売りポジションは
全て決済されています。

米ドル/円のレートがレンジ下限の
130円まで下落したとき、
売りポジションは全て決済されているので
評価損益は発生しておらず、
130円～133円の買いポジションに
発生している評価損益は
合計で **-6,000円**

証拠金、評価損どちらも抑える効果が
期待できるから、資金効率が上がるがぅ！

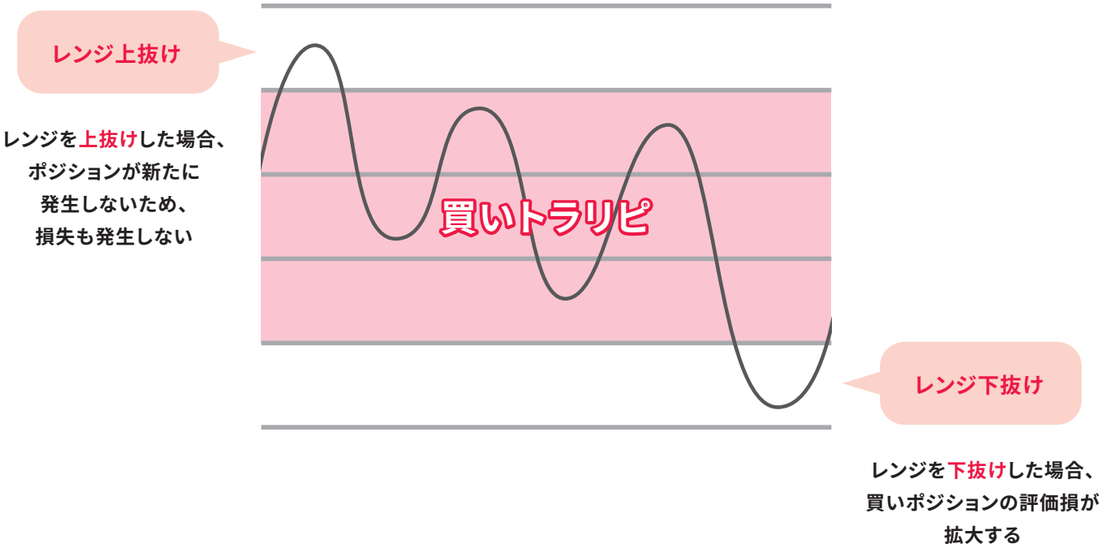


ハーフ&ハーフ戦略のデメリット

ハーフ&ハーフ戦略のデメリット

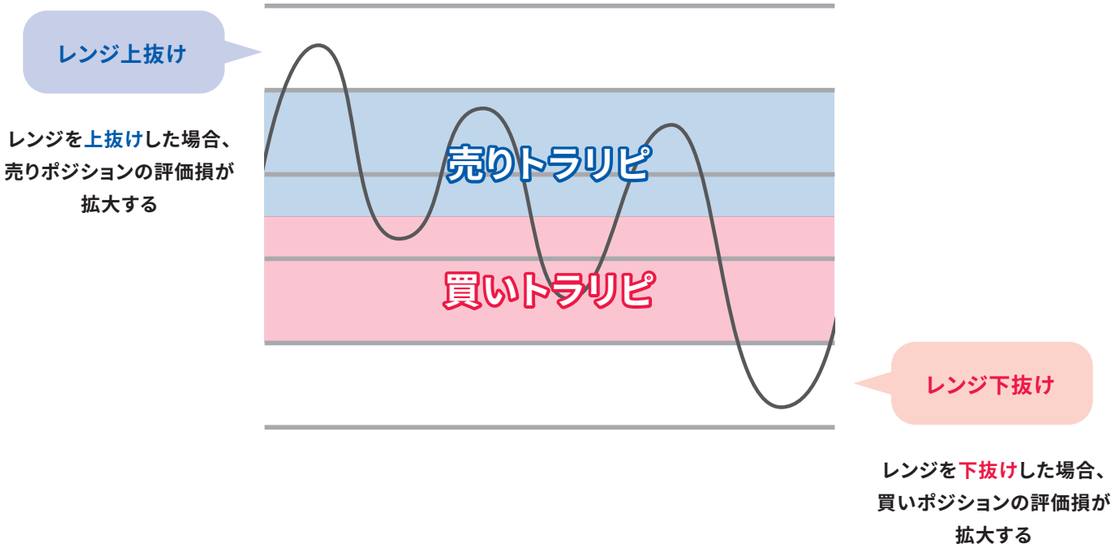
レンジを上抜けたとき、下抜けたとき双方に損失リスクがあることです。
損失リスクとは、ポジションに対して評価損が発生する（評価損が拡大する）リスクのことです。

買いトラリピのみ仕掛けた場合



売りトラリピの場合は、買いトラリピとは反対に
レンジを上抜けたときに損失リスクが発生します
（下抜けたときは、ポジションが新たに発生しないため、損失も発生しません）。

ハーフ&ハーフ戦略の場合



このようにハーフ&ハーフはレンジの上下に損失リスクがあるので、
レンジを設定するときに、レートがレンジを抜けるリスクが高くないか
確認する必要があります。

ハーフ&ハーフ戦略のリスク管理

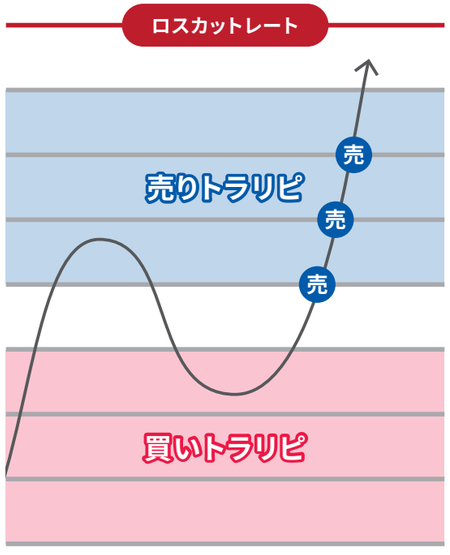
ハーフ&ハーフ戦略のロスカットレート

ハーフ&ハーフの場合、**ロスカットレートが2つあります。**
レンジを上抜けた場合と下抜けた場合です。

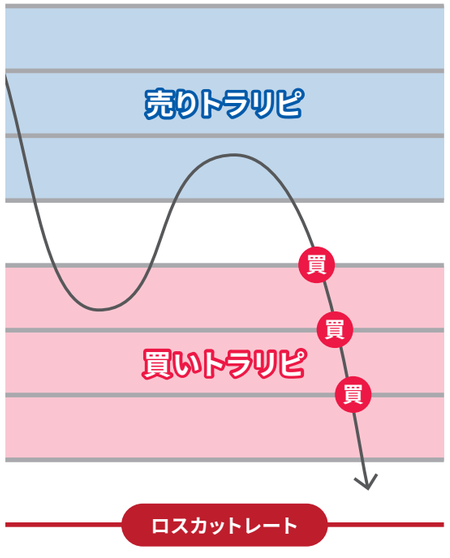
上抜けた場合は保有する売りポジションの評価損が拡大し、
証拠金維持率が100%を下回った段階（ロスカットレートに到達した段階）で
ロスカットが執行されます。

下抜けた場合は保有する買いポジションの評価損が拡大し、
証拠金維持率が100%を下回った段階（ロスカットレートに到達した段階）で
ロスカットが執行されます。

レンジを上抜けした場合



レンジを下抜けした場合



ハーフ&ハーフのロスカットレートを確認する方法

「トラリピのリスクを試算」を買いトラリピ、売りトラリピに分けて行うことで、
それぞれのロスカットレートが確認できます。

ただし、「トラリピのリスクを試算」で確認できるロスカットレートは
試算するハーフ&ハーフ戦略のみを考慮した結果のため、
試算するハーフ&ハーフ戦略の他に
すでに複数のトラリピを設定されている場合は
「トラリピのリスクを試算」で**正確なロスカットレートは確認できない**ので
ご留意ください。

なお、ロスカットレートではなく、あるレートにおける必要資金であれば
「トラリピ戦略管理」（P.74）で確認することもできます。

運用資金を決めてロスカットレートを確認したい
⇒トラリピのリスクを試算（次項）

ロスカットレートを決めて必要資金を確認したい
あるレートにおける必要資金を確認したい
⇒トラリピ戦略管理（P.74）

ハーフ&ハーフ戦略のリスク管理

米ドル/円のトラリピ

買いトラリピ

レンジ：130～140円　トラップ本数11本　1本あたり1,000通貨　利益金額1,000円

売りトラリピ

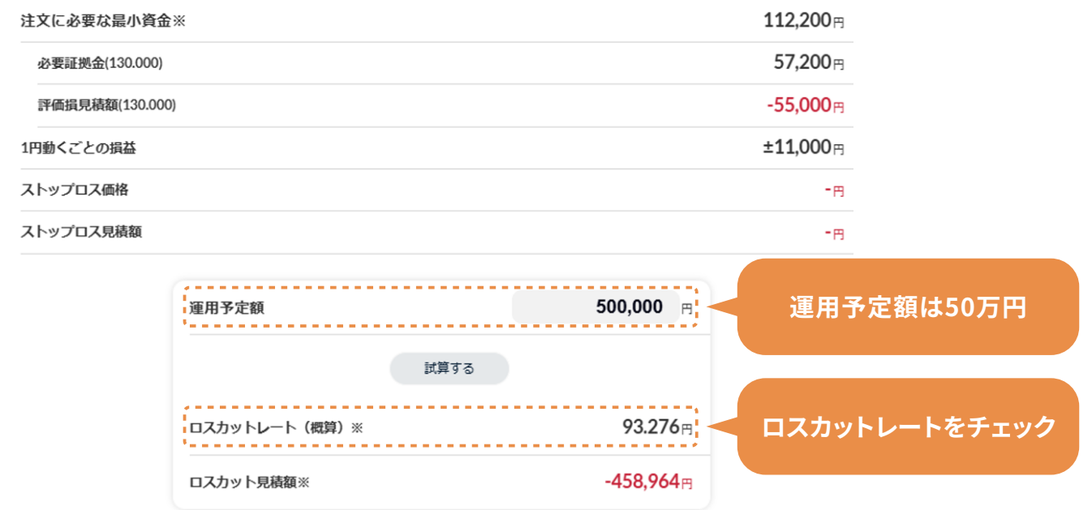
レンジ：141～151円　トラップ本数11本　1本あたり1,000通貨　利益金額1,000円

口座に50万円あります。注文は入っていません。
この状態で上記ハーフ&ハーフ戦略を運用しようとしています。
注文前に**「トラリピのリスクを試算」**で確認します。

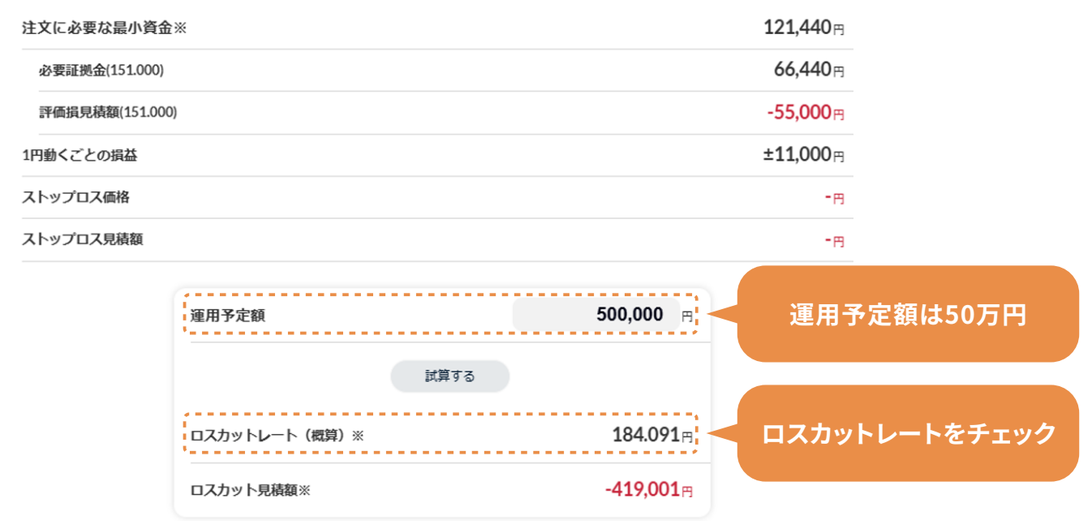
運用予定額は口座の資金を入力
買いと売りで資金を半分にして入力する必要はありません。

例の場合は50万円でハーフ&ハーフ戦略を運用するので、
買いと売りで同じく50万円を運用予定額に入力します。
ハーフ&ハーフ戦略の場合、売りと買いどちらか一方が稼働しているときに
もう一方は稼働していないため、売りと買いで資金を分けて
試算する必要はありません。

①買い注文を入力して「トラリピのリスクを試算」

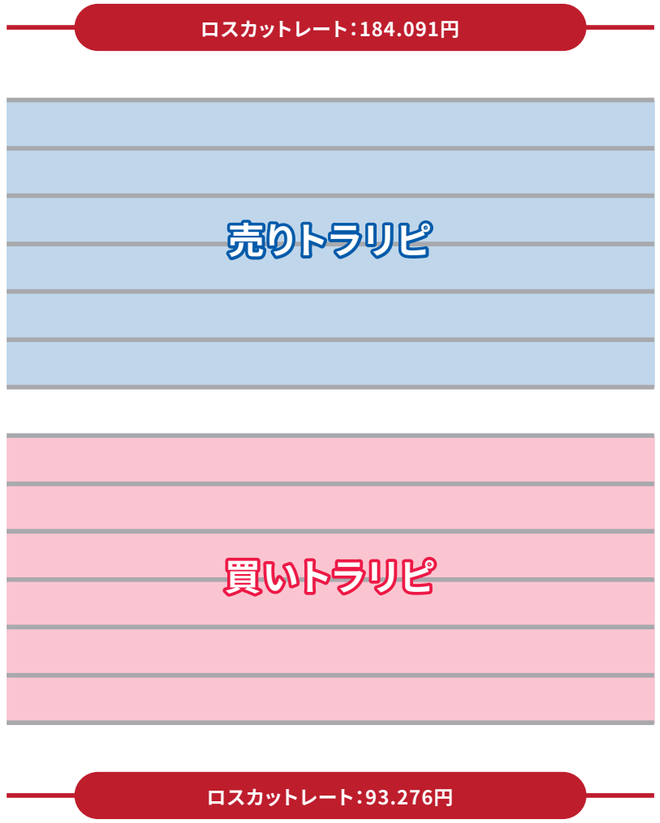


②売り注文を入力して「トラリピのリスクを試算」



ハーフ&ハーフ戦略のリスク管理

ロスカットレートを売りトラリピで試算すると184.091円、
買いトラリピで試算すると93.276円という結果になりました。



つまり、このハーフ&ハーフ戦略を設定すると、
レートがレンジを上抜けて184.091円に到達したらロスカットされる。
レートがレンジを下抜けて93.276円でロスカットされる。
ということになります。

ハーフ&ハーフ戦略のよくある問い合わせ

最後にハーフ&ハーフ戦略についてよくいただくお問い合わせをまとめてQA形式で解説します。

Q. ハーフ&ハーフ戦略は売り・買い同時に注文しないといけないでしょうか？

A. 同時に注文する必要はありません。
例えば先に売りトラリピを設定していて、その後、
売りトラリピより低いレンジに買いトラリピを設定した場合、
その時点からハーフ&ハーフ戦略となります。

Q. 売りと買いの本数は同じでないといけないですか？

A. 必ずしも同じである必要はありませんが、同じ方が証拠金を抑えて、
取引数量を最大限増やすことができます。

[例1：米ドル/円のハーフ&ハーフ]

売りトラリピ	レンジ：140～150円	トラップ本数21本	証拠金121,800円	売り買い同数
買いトラリピ	レンジ：129～139円	トラップ本数21本	証拠金112,560円	

売りトラリピにかかる証拠金（121,800円）で、
売り買い合わせて42本のトラップを仕掛けることができる

ハーフ&ハーフ戦略のよくある問い合わせ

[例2：米ドル/円のハーフ&ハーフ]

売りトラリピ レンジ：135～150円 **トラップ本数31本** 証拠金176,700円
買いトラリピ レンジ：129～134円 **トラップ本数11本** 証拠金57,860円

売りの方が多い

売りトラリピにかかる証拠金（176,700円）で、
売り買い合わせて42本のトラップを仕掛けることができる

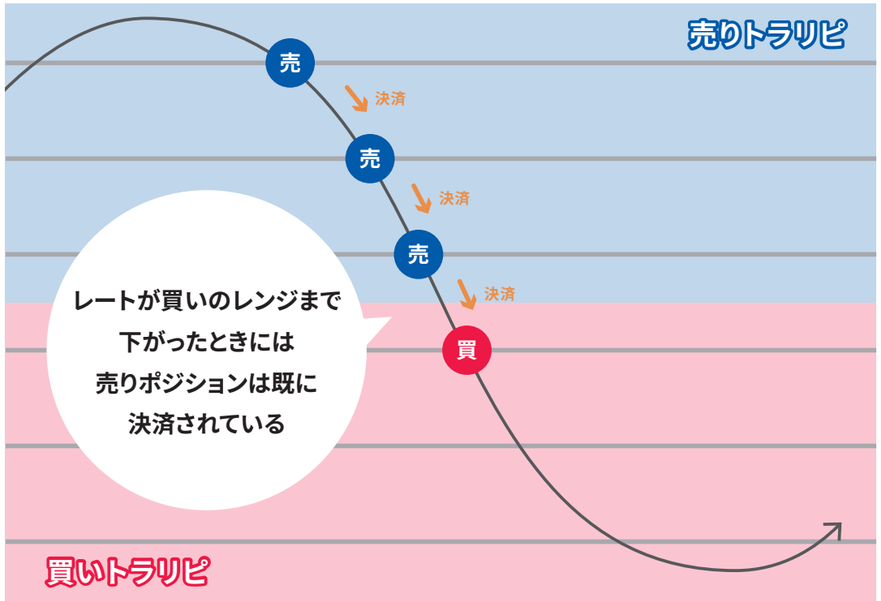
例1・2を比較すると売り・買い合わせてトラップ本数42本という点は同じですが、
例1（売りと買いのトラップが**同じ本数**）の方が**証拠金を抑えることができます**。

Q. 上に買いトラリピ、下に売りトラリピでもいいですか？

A. ハーフ&ハーフ戦略は上に売りトラリピ、
下に買いトラリピを設定いただきます。

上に買いトラリピ、下に売りトラリピを設定した場合、
買いポジション・売りポジション両方持つ（両建てになる）可能性があります。

上のレンジに売りトラリピ、
下のレンジに買いトラリピ（ハーフ&ハーフ）の場合

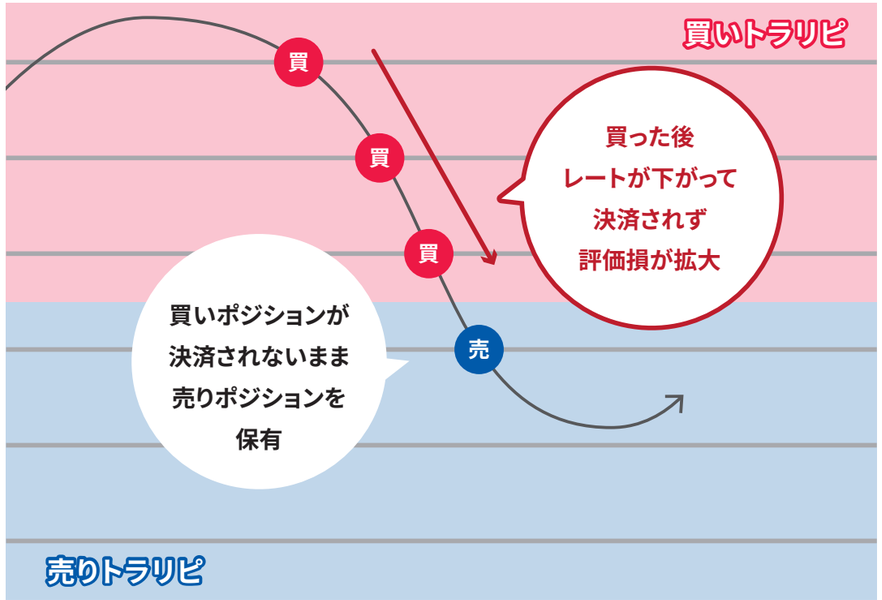


レートが売りのレンジまで上がったときも上記同様に、
買いポジションは決済されていることになります。
（設定された利益値幅やレンジによっては買いポジションを持ったまま
売りのレンジに入ることもあります）

ハーフ&ハーフ戦略のよくある問い合わせ

上のレンジに買いトラリピ、
下のレンジに売りトラリピの場合

ハーフ&ハーフ戦略ではない！



※レートが売りのレンジから上昇した場合も同様に、売りのポジションが決済されず、
評価損を抱えた状態で買いのレンジに到達し、買いポジションを保有することになります。

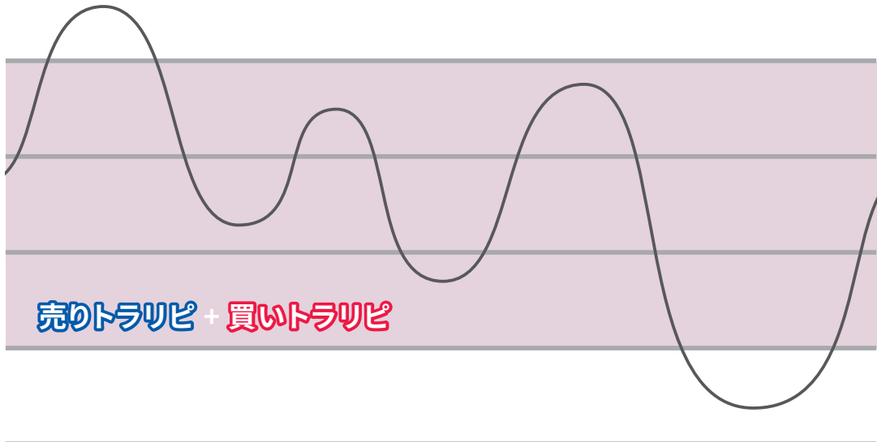
上記のように同一通貨ペアで売りポジションと買いポジションを同時に保有することを**両建て**といいますが、両建て取引は売りと買いのスワップの差や決済時における売値と買値の価格差（スプレッド）を負担する等のデメリットがありますので、ご注意ください。

Q. 買いトラリピと売りトラリピのレンジを一部重ねた（もしくは全く同じレンジに買い・売りトラリピを注文した）場合もハーフ&ハーフ戦略ですか？

A. 売りと買いのレンジを重ねた場合は、ハーフ&ハーフ戦略とはなりません。
同じレンジ内に売りと買いのトラリピを両方仕掛ける（売りと買いのトラリピのレンジが重なっている）場合、当社ではBuy&Sell戦略と呼んでいます。

例えば米ドル/円が130円～137円でBuy&Sell戦略を設定する場合
売りトラリピ：130円～137円　買いトラリピ：130円～137円で注文します。
同じレンジ

Buy&Sell戦略の場合



両建ての注意事項を認識したうえで…

Buy&Sell戦略のメリット

レンジ内でレートが動いた場合、買いトラリピだけ（もしくは売りトラリピだけ）のときと比べ、約2倍の収益が期待できます。
レンジ内に売りと買いのトラリピが重なって設定されているため、レンジ内でレートが上がっても、もしくは下がっても利益が得られる可能性があります。

Buy&Sell戦略のデメリット

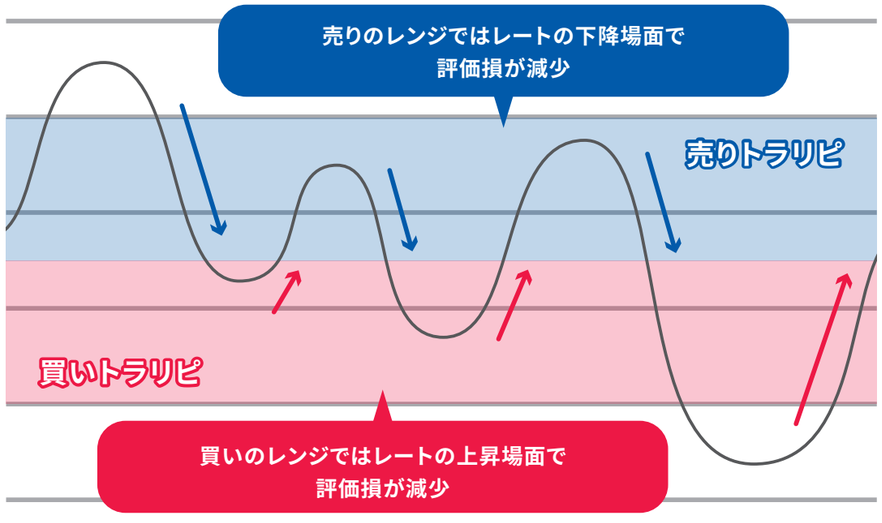
1.レンジの上下に損失リスク
（ハーフ&ハーフ戦略のデメリットと同様）
2.評価損がいつまでも消えない
（次ページにて詳しく）

ハーフ&ハーフ戦略のよくある問い合わせ

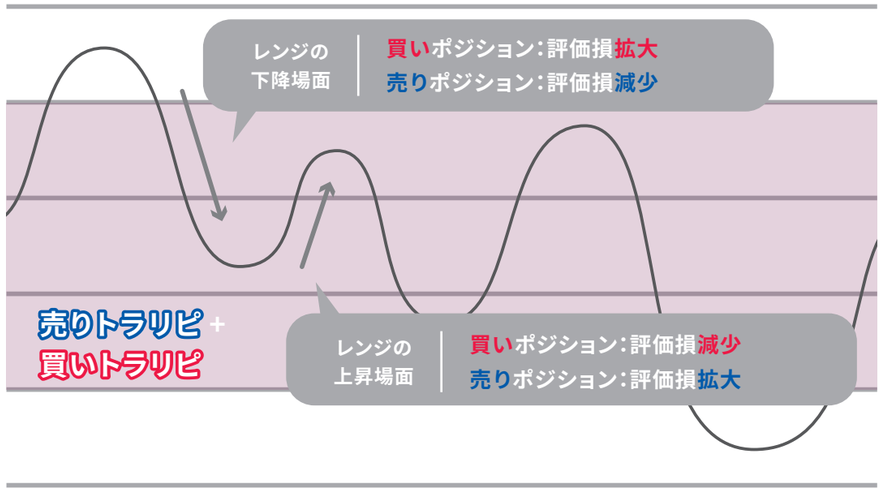
前項の他、Buy&Sell戦略は、売りと買いの注文を同時に発注することで、
注文成立時、一部の価格帯において売り買い両方のポジションを保有する
局面があります。
この場合、売りと買いのスワップの差や決済時における売値と買値の価格差
（スプレッド）を負担する等のデメリットもあります。

評価損がいつまでも消えないってどういうこと？

ハーフ&ハーフ戦略の場合



Buy&Sell戦略の場合



このようにBuy&Sell戦略では評価損を常時抱えながら
トラリピを運用することとなります。
Buy&Sell戦略のメリット・デメリット、および両建ての注意事項を
ご確認いただいたうえでご検討ください。

レンジ内での収益を重視するなら
Buy&Sell戦略
コストをなるべく抑えるなら
ハーフ&ハーフ戦略がぅ！

円が絡まない通貨ペアを取引したい

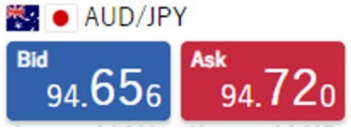
米ドル/円やユーロ/円といった円が絡む通貨ペア（**対円の通貨ペア**）は
レートの単位が円なので損益や証拠金等が分かりやすい特長があります。
一方、**ユーロ/米ドル**や**豪ドル/NZドル**、**ユーロ/英ポンド**のように
レートの単位が円ではない通貨ペアは少しとっつきにくいイメージがあると思います。

複数通貨ペアでトラリピを運用する場合、対円同士だと円の動きに連動しやすくなり、
同じタイミングで損失が拡大する可能性があるため、リスクの分散効果が期待しにくくなります。
このため、対円以外の通貨ペアを選択肢に加えることができると
複数通貨ペアでトラリピを運用しやすくなります。

レートの見方

まずはレートパネルの見方について説明します。
下記のように表示されている豪ドル/円のレートであれば、
1豪ドルを94.72円で買うことができる（交換できる）ということを意味します。

豪ドルを**売る**ときは
こちらのレート



豪ドルを**買う**ときは
こちらのレート

▼

1豪ドル＝94.72円

続いて豪ドル/NZドルのレートパネルです。
この場合は1豪ドルと1.09408NZドルが交換できるという表示です。

▼

1豪ドル＝1.09408NZドル

このように通貨ペアの左側に書いてある1通貨分（1豪ドル等）購入するためには
右側に書いてある通貨がいくら必要か、ということがレートパネルで確認できます。

左側 **AUD/NZD** 右側

証拠金の計算

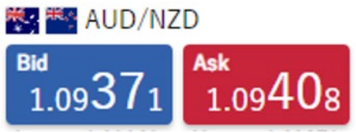
続いて証拠金の計算方法です。
円が絡む通貨ペアであればそのまま注文価格で計算できますが、
円が絡まない通貨ペアの場合は**円換算**する必要があります。

円が絡まない通貨ペアの場合の証拠金計算式

注文価格 × 注文数量 × 証拠金率 × 円換算レート

円が絡まない通貨ペアを取引したい

豪ドル/NZドル（AUD/NZD）を例に説明します。



例えば上記レートのときに1,000通貨買う取引をします。
つまり1豪ドル＝1.09408NZドルのときに1,000豪ドル購入するという取引です。

このときに必要な証拠金は

1.09408NZドル × 1,000通貨 × 証拠金率（4%） ＝ 43.7632NZドル

43.7632NZドルをNZドル/円（NZD/JPY）で円換算します。
1NZドル＝85円だった場合

43.7632NZドル × 85円 ＝ 3,719.872円
→（小数点以下切り上げ）→ 3,720円

つまり、AUD/NZDを1,000通貨取引するのに必要な証拠金は**3,720円**となります。

円換算レートについて

通貨ペアの右側に書かれている通貨と円の通貨ペアで円換算をします。
先ほどのAUD/NZDであれば**右側がNZDなのでNZD/JPY**（NZドル/円）で円換算、
EUR/GBPであれば**右側がGBPなのでGBP/JPY**（英ポンド/円）で円換算します。

損益の計算

損益も証拠金同様、円換算されます。

【例】ユーロ/英ポンド（EUR/GBP）で1ユーロ＝0.87英ポンドのときに1万ユーロを購入
1ユーロ＝0.88英ポンドで売った場合

EUR/GBPは円換算レートがGBP/JPY（英ポンド/円）なので
GBP/JPYのレートの動きによって証拠金と損益額が変わります。

GBP/JPY＝160円の場合

証拠金

0.87英ポンド × 1万通貨 × 証拠金率（4%） × 160円 ＝ 55,680円

損益額

（0.88英ポンド − 0.87英ポンド） × 1万通貨 × 160円 ＝ 16,000円

円が絡まない通貨ペアを取引したい

ちなみに、円換算されるタイミングは、

証拠金

リアルタイムレートで常に円換算レートの変動を受けて価格が変わります。

損益額

決済されるまでの間（ポジションの評価損益）はリアルタイムレートで
常に円換算レートの変動を受けて価格が変わります。
決済が成立した場合は、成立したタイミングで損益が確定（成立したときのレートで
円換算された損益で確定）し、以降はレートの動きによって損益が動くことはありません。

証拠金も損益も円換算されるから、
外貨を預ける必要はないがぅ！

証拠金とかは自分で円換算しないと確認できないの？

これまで円換算の計算式等を説明してきたので、
お客様自身で計算しないと確認できないと思われるかもしれませんが、
トラリピを注文するときに円換算された発注証拠金等が
表示されるのでご安心ください。
あくまでイメージを持ってもらうために計算式を案内しています。

また、決済されたときの損益やポジションの評価損益も
円換算されて取引画面上に表示されます。

豪ドル/NZドルのトラリピ注文画面

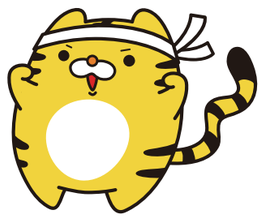
通貨ペア	AUD/NZD
売買	買
レンジ	1.10000 〜 1.00000
チャートを表示 ›	
注文数量（万）	0.1万
トラップ本数	51本
利益値幅	0.00200
利益金額	2.00 NZドル
せま得適用	適得
決済トレール	設定なし
ストップロス	設定なし
レンジシフト	設定なし
トラリピメモ AUD/NZD_1,000_51_2025/03/11	
発注証拠金	192,558

利益金額は2NZドルで設定されますが、
決済されたときの円換算レートによって、
日本円で得られる利益は変わっていきます。

例えば決済されたときのNZドル/円が83円
であれば、2NZドル×83円＝166円が
得られる利益です。

注文時のレートで円換算された
発注証拠金が表示されます。

これで対円以外のトラリピ
にも挑戦できるがぅ！

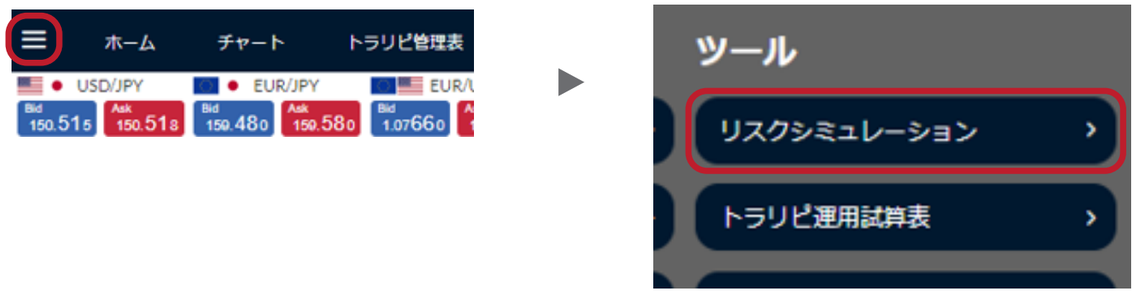


リスクシミュレーションを使いたい

リスクシミュレーションはPCトレード画面・アプリで搭載していますが、
ここではPCの画面を用いて使い方をご説明します。
リスクシミュレーションを使いこなしてトラリピ上級者になりましょう！

アプリの操作ガイド ｜ https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5649?site_domain=default

リスクシミュレーションの表示方法（PCの場合）



リスクシミュレーションの画面

①画面の見方

①画面の見方

リスクシミュレーションはトラリピFX口座とトラリピCFD口座（株価指数CFD）で分かれています。
ここではトラリピFX口座を例にご説明します。

リスクシミュレーション画面
左上にあります

レートパネルおよび口座状況の下段には、リスクシミュレーションの操作結果が表示されます。
※アプリでは操作結果のみ表示されます（操作前の口座状況は表示されません）。

レートパネル

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK
150.645	150.648	159.580	159.680	1.07760	1.07780
145.000	145.003	159.580	159.680	1.07760	1.07780

← 下段

口座状況

証拠金維持率
659 %
605 %

← 下段

②操作メニュー

②操作メニュー

操作メニューの主な項目を説明します。

レートを変更してみる

入力したレートになったときの口座状況やポジション状況を確認できます。

こんなときに使います

レートが○○になったときに証拠金維持率や評価損益がどうなっているか確認したい（例えば、過去に発生したショック相場と同じレートになったときの口座状況を確認したい場合など）

入金・出金をしてみる

入力した金額分、口座の資金が増えます（出金の場合は減ります）。

こんなときに使います

●入金したらどれくらい証拠金維持率が上がる？
●出金したらどれくらい証拠金維持率が下がる？
●入金（出金）したらロスカットレートがどれくらい変わる？

ポジションを持ってみる

入力したトラリピ等のポジションを持った場合の口座状況が確認できます。

こんなときに使います

トラリピを追加したらどれくらい証拠金維持率が変わるか確認したい（例えば、追加でトラリピやその他の通常注文を設定することを検討している場合など）

ポジションを決済してみる

保有しているポジションを選択して決済した場合の口座状況を確認できます。

こんなときに使います

ポジションを決済したらどれくらい証拠金維持率が変わるか確認したい（例えば、保有ポジションの決済を検討している場合など）

ポジション決済の方法は操作メニュー「ポジションを決済してみる」やポジションサマリから操作できます。

【例】米ドル/円の買いポジションを決済したい

通貨ペア	ポジション			
	売	平均価格	買	平均価格
USD/JPY	10,000	151.116	10,000	149.407
EUR/JPY	-	-	-	-
EUR/USD	-	-		-
EUR/GBP	100,000	0.86745	5,000	0.88765
AUD/JPY	-	-		-

米ドル/円の買いポジションをクリック

③リスクシミュレーションの注意事項

※「決済数量」の下のチェックボックスにチェックを入れると全てのポジションにチェックが入ります。
また、【全決済】ボタンをクリックすると、（チェックを入れる必要はなく）
「ポジションを決済してみる」画面に表示されているポジションが全て決済されます。

リスクシミュレーションの注意事項

リスクシミュレーションは、下記のように
実際の取引環境とは異なる部分・仕様があります。

決済注文は考慮されません

リスクシミュレーション上では決済注文が考慮されません。このためレートを動かして、決済価格にレートが到達しても、そのポジションはリスクシミュレーション上では決済されません。
リスクシミュレーション上でポジションを決済したい場合は、「ポジションを決済してみる」より操作してください。

【例】USD/JPYの買いポジションを1万通貨持っている場合

152円になったら売る決済注文が設定されています。

リスクシミュレーションの「レートを変更してみる」で
USD/JPYのレートを決済価格の152円にしてみます。

③リスクシミュレーションの注意事項

ロスカットレートが表示されないことがあります

リスクシミュレーション上でロスカットレートが表示されない
ケースがあります。

ロスカットレート（概算） ※複数通貨ペア保有の場合は算出されませんので、証拠金維持率をご確認ください
-

レートではなく「ー」（ハイフン）が
表示されている

（1）算出されるロスカットレートが0円以下の場合

口座の資金に対して保有ポジションの量が少なく、
レートが0円になってもロスカットが執行されない場合、ロスカットレートは表示されません。

▼

0円になってもロスカットが執行されないほど口座の資金に余裕がある状態ということです。

（2）複数通貨ペア運用している場合

複数の通貨ペアでポジションを保有している場合、それぞれの通貨ペアのレートの動きが影響して
評価損益が変動し、口座の証拠金維持率が100%を下回った時点でロスカットが執行されます。
このため、単一の通貨ペアでポジションを保有されている場合のように
ロスカットレートを計算できないため、表示されません。

複数通貨ペアのロスカットイメージ

保有しているポジション

米ドル/円 買いポジション	ユーロ/円 買いポジション	豪ドル/円 買いポジション
取得価格：130円	取得価格：140円	取得価格：90円

口座資金：30万円

証拠金維持率は現在200%

米ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円のレートの動きによって
評価損益が動き、証拠金維持率に影響します

例1　米ドル/円レート：123.500円 ｜ ユーロ/円レート：141.013円 ｜ 豪ドル/円レート：81.700円

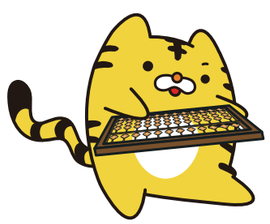
▶▶▶ **維持率99%になりロスカット執行！**

例2　米ドル/円レート：125.000円 ｜ ユーロ/円レート：136.400円 ｜ 豪ドル/円レート：82.300円

▶▶▶ **維持率99%になりロスカット執行！**

例3　米ドル/円レート：126.000円 ｜ ユーロ/円レート：133.000円 ｜ 豪ドル/円レート：84.700円

▶▶▶ **維持率99%になりロスカット執行！**



などなど……
ロスカットが執行される**レートの組み合わせは無数**にあります。
このため**複数通貨ペア**だと**ロスカットレートが表示されません。**

③リスクシミュレーションの注意事項

リスクシミュレーション上で保有しているポジションのみ考慮されています

例えばトラリピをトラップ10本で注文して、そのうち3本のみでポジションが成立した状態でリスクシミュレーション画面を表示した場合、3本の保有ポジションのみが考慮されてロスカットレートが算出されます。

当然のことながら、10本成立しているときの方がロスカットに対するリスクが高くなります。

例）資金30万円で米ドル/円の買いトラリピ

（レンジ135円～150円、トラップ本数16本、1本あたり0.1万通貨）を仕掛けています。
現在3本（150円、149円、148円）のポジションが成立しています。

この状態でリスクシミュレーションのロスカットレートを見ると…

ロスカットレート（概算）

51.041円

今持っているポジション3つだけで、
これ以上増えない場合、
米ドル/円のレートが51.041円まで下がったときに
ロスカットが執行されるということ

実際に**135円～150円までのトラップ（16本）**のポジションを**全て持った場合**は

ロスカットレート（概算）

128.906円

※全てのトラップが成立した状態でロスカットレートを確認したい場合※

「レートを変更してみる」を操作して、仕掛けているトラップの価格にレートを到達させることによりトラップが成立（ポジションを保有）することができます。これにより全てのトラップを成立させた後、ロスカットレートや評価損益を確認しましょう。

「レートを変更してみる」で仕掛けているトラリピのトラップを全て成立させる方法を説明します。

操作説明の前に…

BIDとASKはどっちを入力したらいいの？

「レートを変更してみる」では以下のようにBIDとASKの項目が分かれています。

	BID	ASK		BID	ASK	SPREAD
☐ USD/JPY	137.019	137.063	→	137.019	137.063	44
☐ EUR/JPY	144.035	144.089	→	144.035	144.089	54

BID
売りレートのこと。
売り注文（新規売り注文・決済売り注文）はBIDレートが注文価格に到達すると成立します。

ASK
買いレートのこと。
買い注文（新規買い注文・決済買い注文）はASKレートが注文価格に到達すると成立します。

※BIDを入力したらSPREAD分、BIDより高い価格にASKが自動的に設定されます
（ASKの価格を入力した場合は逆にSPREAD分、ASKより低い価格でBIDが設定されます）

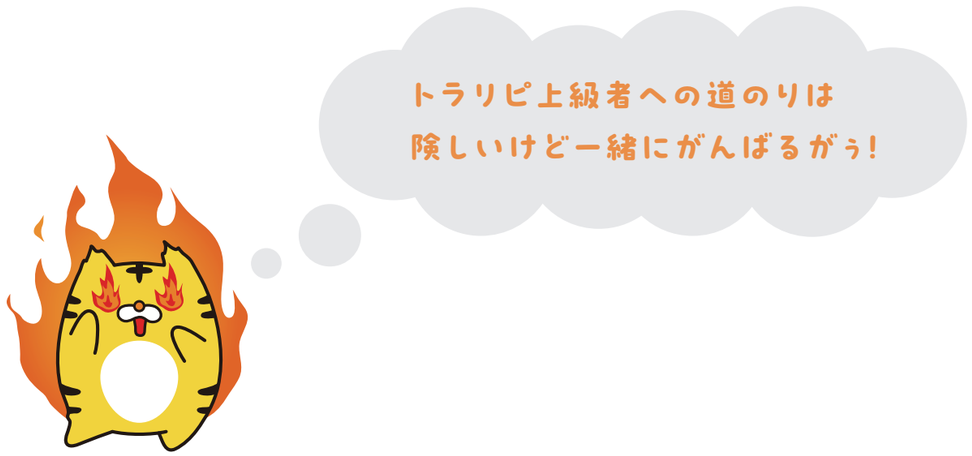
③リスクシミュレーションの注意事項

「レートを変更してみる」でトラップ（ポジション）を
全て成立させたい場合は、

売りトラリピ（新規売り注文）：BIDレートを動かす
買いトラリピ（新規買い注文）：ASKレートを動かす

ことになります。

それでは「レートを動かしてみる」の操作手順について、
買いトラリピの場合と売りトラリピの場合に分けてご説明します。



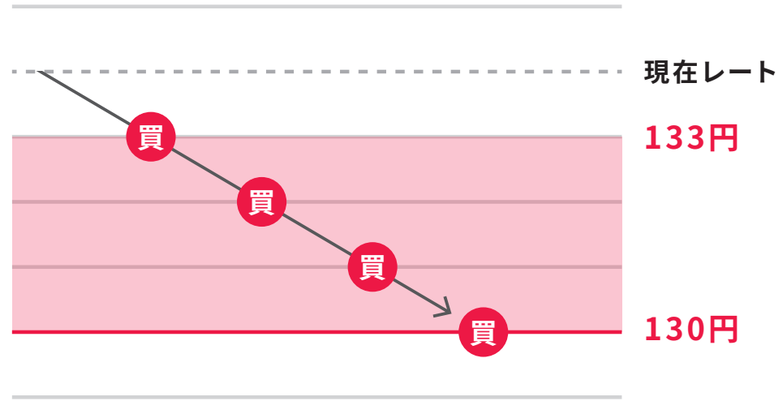
買いトラリピ

状況①
現在レートよりトラリピのレンジが
下にある場合

▼

トラップを全部成立させるためには
レンジ下限（もしくは下限より下）にレートを動かす

▼

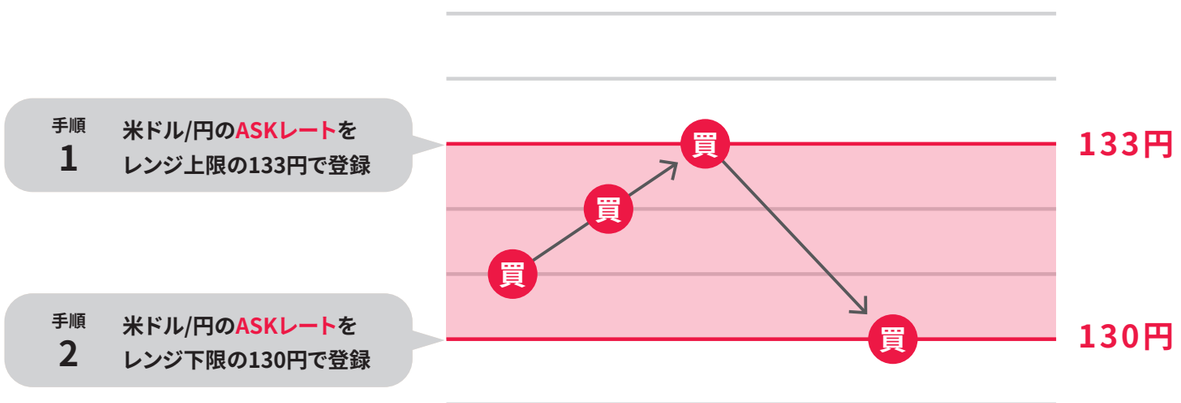


③リスクシミュレーションの注意事項

状況②
現在レートがトラリピのレンジ内にある場合
（もしくは現在レートがトラリピのレンジよりも下にある場合）

2回レートを変更する

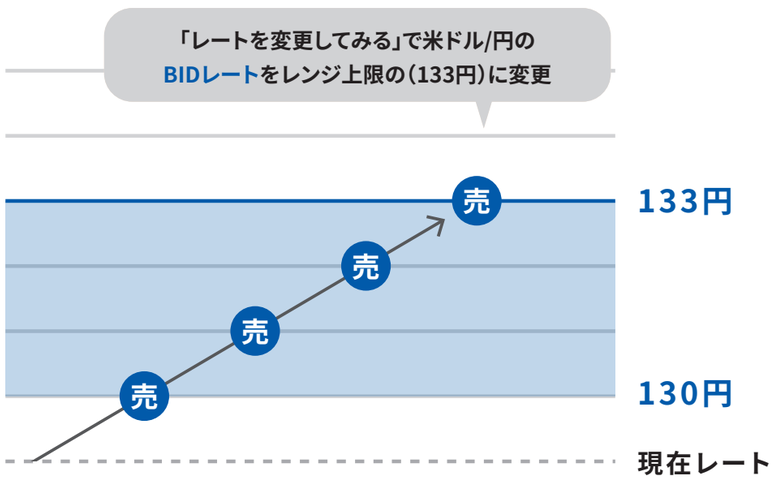
トラップを全部成立させるためには
レートをレンジ上限まで動かす
→ レンジ下限（もしくは下限より下）にレートを動かす



売りトラリピ

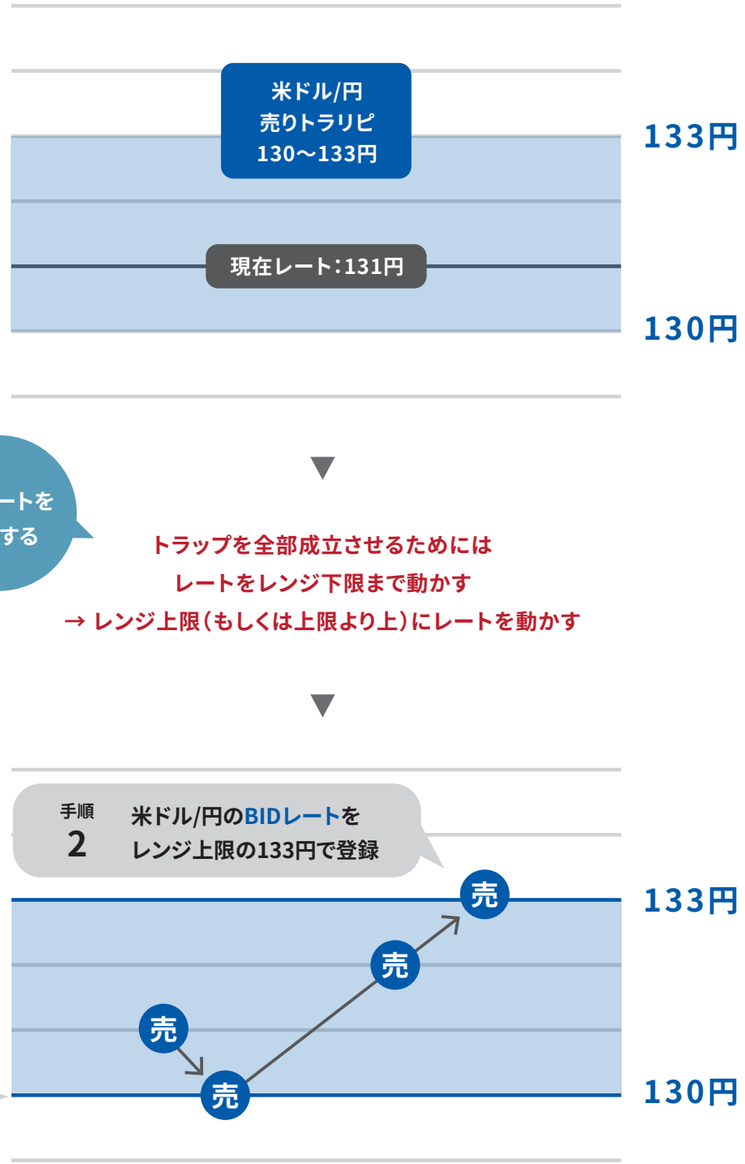
状況①
現在レートよりトラリピのレンジが上にある場合

トラップを全部成立させるためには
レンジ上限（もしくは上限より上）にレートを動かす



③リスクシミュレーションの注意事項

状況②
現在レートがトラリピのレンジ内にある場合
（もしくは現在レートがトラリピのレンジよりも上にある場合）



このように、レートを動かすことによってポジションを成立させて、
ロスカットレートや口座状況を確認してみてください。

未成立の注文（トラップ）があるかどうかはどこで確認できるの？

いくつか確認方法はありますが、わかりやすいのは「トラリピ管理表」です。
※「トラリピ管理表」は「リスクシミュレーション」にはないので、
取引画面のメニューより表示してください。

トラリピ管理表

売買	注文レンジ	ストップロス	利益値幅	（数量×本数）	合計数量
買	145.000～155.000		決得 0.300	1,000×11本	11,000

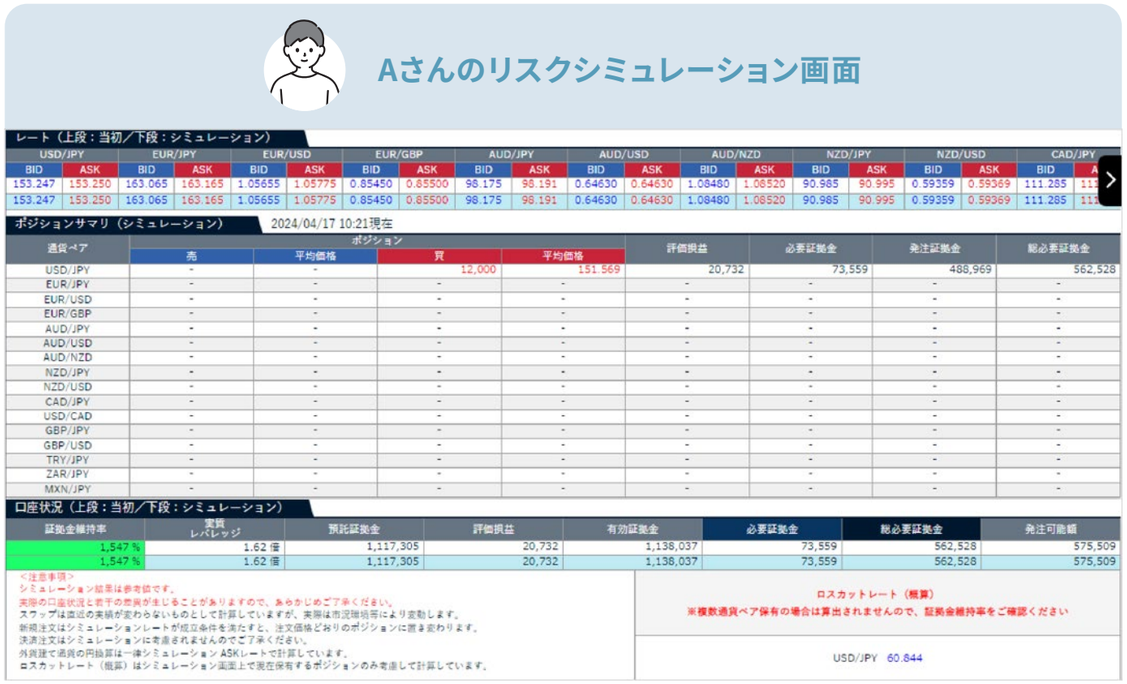
クリック

11本中
3本のトラップが
成立

本数	平均価格	ｽﾄｯﾌﾟﾛｽ
3/11	-	-
#	新規・買	決済・売
1	155.000	155.300
2	154.000	154.300
3	153.000	153.300
4	152.000	152.300
5	151.000	151.300
6	150.000	150.300
7	149.000	149.300
8	148.000	148.300
9	147.000	147.300

④リスクシミュレーションの活用例 実践！

ある取引例を用いてリスクシミュレーションの操作例をご案内します。



Aさんのリスクシミュレーション画面

レート（上段：当初／下段：シミュレーション）

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD		EUR/GBP		AUD/JPY		AUD/USD		AUD/NZD		NZD/JPY		NZD/USD		CAD/JPY	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	A
153.247	153.250	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	11
153.247	153.250	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	11

ポジションサマリ（シミュレーション） 2024/04/17 10:21現在

通貨ペア	ポジション				評価損益	必要証拠金	発注証拠金	総必要証拠金
	売	平均価格	買	平均価格				
USD/JPY	-	-	12,000	151.569	20,732	73,559	488,969	562,528
EUR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/GBP	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/NZD	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
CAD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
USD/CAD	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
TRY/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
ZAR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
MXN/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-

口座状況（上段：当初／下段：シミュレーション）

証拠金維持率	実質レバレッジ	預託証拠金	評価損益	有効証拠金	必要証拠金	総必要証拠金	発注可能額
1,547 %	1.62 倍	1,117,305	20,732	1,138,037	73,559	562,528	575,509
1,547 %	1.62 倍	1,117,305	20,732	1,138,037	73,559	562,528	575,509

<注意事項>
シミュレーション結果は参考値です。
実際の口座状況と若干の差異が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
スワップは直近の実績が変わらないものとして計算していますが、実際は市況環境等により変動します。
新規注文はシミュレーションレートが成立条件を満たすと、注文価格どおりのポジションに置き変わります。
決済注文はシミュレーションに考慮されませんのでご了承ください。
外貨建て通貨の円換算は一律シミュレーション ASKレートで計算しています。
ロスカットレート（概算）はシミュレーション画面上で現在保有するポジションのみ考慮して計算しています。

ロスカットレート（概算）
※複数通貨ペア保有の場合は算出されませんので、証拠金維持率をご確認ください

USD/JPY 60.844

USD/JPYの買いポジションを1.2万通貨持っています。

【ポジションの内訳】

- 1.1万通貨：トラリピ以外の注文で成立したポジション
- 0.1万通貨：トラリピで成立したポジション

※P.67の【Aさんのトラリピ設定状況】で解説しています。

ロスカットレートは60.844円となっていました。
（USD/JPYのレートが60.844円になったらロスカットが執行されます）

【Aさんのトラリピ設定状況】

USD/JPYの買いトラリピを2つ設定しています。

- 1つ目：レンジ145円～155円（トラップ本数51本、1本あたり0.1万通貨）
  → ポジションは持っていません。
- 2つ目：150円～154.98円（トラップ本数31本、1本あたり0.1万通貨）
  → 1本だけポジションを持っています。

Aさん

買いポジションを最大限持ったときのロスカットレートが知りたい

「レートを変更してみる」を操作してトラップを全部成立させる

現在USD/JPYのレートが153.250円でレンジ内にレートがあるので、
USD/JPYの**ASKレート**を155円（仕掛けているトラリピのうち一番高いレンジ上限）に登録した後、
次に145円（仕掛けているトラリピのうち一番低いレンジ下限）に登録します。

手順1：レンジ上限を登録

④リスクシミュレーションの活用例

手順2：レンジ下限を登録

そうすると、このような結果となりました。

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD		EUR/GBP		AUD/JPY		AUD/USD		AUD/NZD		NZD/JPY		NZD/USD		CAD/JPY	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK
153.247	153.250	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	111
144.997	145.000	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	111

ポジションサマリ（シミュレーション）　2024/04/17 10:29現在

通貨ペア	ポジション				評価損益	必要証拠金	発注証拠金	総必要証拠金
	売	平均価格	買	平均価格				
USD/JPY	-	-	93,000	150.996	-557,381	539,399	-	539,399
EUR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/GBP	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/NZD	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
CAD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
USD/CAD	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
TRY/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
ZAR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
MXN/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-

口座状況（上段：当初／下段：シミュレーション）

証拠金維持率	実質レバレッジ	預託証拠金	評価損益	有効証拠金	必要証拠金	総必要証拠金	発注可能額
1,547 %	1.62 倍	1,117,305	20,732	1,138,037	73,559	562,528	575,509
103 %	24.09 倍	1,117,305	-557,381	559,924	539,399	539,399	20,525

<注意事項>
シミュレーション結果は参考値です。
実際の口座状況と若干の差異が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
スワップは直近の実績が変わらないものとして計算していますが、実際は市況動向等により変動します。
新規注文はシミュレーションレートが成立条件を満たすと、注文価格どおりのポジションに置き変わります。
決済注文はシミュレーションに考慮されませんのでご了承ください。
外貨建て通貨の円換算は一律シミュレーション ASKレートで計算しています。
ロスカットレート（概算）はシミュレーション画面上で現在保有するポジションのみ考慮して計算しています。

ロスカットレート（概算）
※複数通貨ペア保有の場合は算出されませんので、証拠金維持率をご確認ください

USD/JPY　144.766

レートを変更する前は1.2万通貨のポジション量でしたが、
トラップを全部成立させた結果、9.3万通貨に増えました。

また、ロスカットレートも60.844円から144.766円まで上がりました。

Aさん

最大ポジションを持った場合は
144.766円でロスカットが執行されるのか…
追加で100万円入金したら
ロスカットレートは下げられるかな？

「入金してみる」を操作する

④リスクシミュレーションの活用例

そうすると、このような結果となりました。

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD		EUR/GBP		AUD/JPY		AUD/USD		AUD/NZD		NZD/JPY		NZD/USD		CAD/JPY	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	A
153.247	153.250	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	11
144.997	145.000	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	11

ポジションサマリ（シミュレーション） 2024/04/17 10:40現在

通貨ペア	ポジション				評価損益	必要証拠金	発注証拠金	総必要証拠金
	売	平均価格	買	平均価格				
USD/JPY	-	-	93,000	150.996	-557,381	539,399	-	539,399
EUR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/GBP	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/NZD	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
CAD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
USD/CAD	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
TRY/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
ZAR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
MXN/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-

口座状況（上段：当初／下段：シミュレーション）

証拠金維持率	実質レバレッジ	預託証拠金	評価損益	有効証拠金	必要証拠金	総必要証拠金	発注可能額
1,547 %	1.62 倍	1,117,305	20,732	1,138,037	73,559	562,528	575,509
289 %	8.65 倍	2,117,305	-557,381	1,559,924	539,399	539,399	1,020,525

＜注意事項＞
シミュレーション結果は参考値です。
実際の口座状況と若干の差異が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
スワップは直近の実績が変わらないものとして計算していますが、実際は市況環境により変動します。
新規注文はシミュレーションレートが成立条件を満たすし、注文価格どおりのポジションに置き換わります。
決済注文はシミュレーションに考慮されませんのでご了承ください。
外貨建て通貨の円換算は一律シミュレーション ASKレートで計算しています。
ロスカットレート（概算）はシミュレーション画面上で現在保有するポジションのみ考慮して計算しています。

ロスカットレート（概算）
※複数通貨ペア保有の場合は算出されませんので、証拠金維持率をご確認ください

USD/JPY 133.566

先ほどはロスカットレートが144.766円でしたが、
100万円入金した結果133.566円に下がりました。

Aさん

USD/JPYのトラリピ以外で持っている
ポジション1.1万通貨を決済して
AUD/NZDのトラリピを注文してみようかな

「ポジションを決済してみる」と「ポジションを持ってみる」を操作する

手順1:「ポジションを決済してみる」

手順2:「ポジションを持ってみる」

④リスクシミュレーションの活用例

そうすると、このような結果となりました。

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD		EUR/GBP		AUD/JPY		AUD/USD		AUD/NZD		NZD/JPY		NZD/USD		CAD/JPY	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	A
153.247	153.250	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	111
144.997	145.000	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	111

ポジションサマリ（シミュレーション）　2024/04/17 10:53現在

通貨ペア	ポジション				評価損益	必要証拠金	発注証拠金	総必要証拠金
	売	平均価格	買	平均価格				
USD/JPY	-	-	82,000	150.941	-487,468	475,600	-	475,600
EUR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/GBP	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/NZD	-	-	21,000	1.09000	-9,954	82,929	-	82,929
NZD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
CAD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
USD/CAD	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
TRY/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
ZAR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
MXN/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-

口座状況（上段：当初／下段：シミュレーション）

証拠金維持率	通貨レバレッジ	預託証拠金	評価損益	有効証拠金	必要証拠金	総必要証拠金	発注可能額
1,547 %	1.62 倍	1,117,305	20,732	1,138,037	73,559	562,528	575,509
277 %	9.01 倍	2,047,392	-497,422	1,549,970	558,529	558,529	991,441

＜注意事項＞
シミュレーション結果は参考値です。
実際の口座状況と若干の差異が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
スワップは直近の実績が変わらないものとして計算していますが、実際は市況環境等により変動します。
新規注文はシミュレーションレートが成立条件を満たすと、注文価格どおりのポジションに置き変わります。
決済注文はシミュレーションに考慮されませんのでご了承ください。
外貨建て通貨の円換算は一律シミュレーション ASKレートで計算しています。
ロスカットレート（概算）はシミュレーション画面上で現在保有するポジションのみ考慮して計算しています。

ロスカットレート（概算）
※複数通貨ペア保有の場合は算出されませんので、証拠金維持率をご確認ください

-

USD/JPYとAUD/NZDのポジションを持った（複数通貨ペアになった）ので、ロスカットレートが表示されなくなりました

Aさん

AUD/NZDが今1.08NZだから、1.05NZDまで下がったときに証拠金維持率がどのくらいになるか確認してみようかな

「レートを変更してみる」でAUD/NZDのレートを1.05NZに変更

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD		EUR/GBP		AUD/JPY		AUD/USD		AUD/NZD		NZD/JPY		NZD/USD		CAD/JPY	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	A
153.247	153.250	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.08480	1.08520	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	111
144.997	145.000	163.065	163.165	1.05655	1.05775	0.85450	0.85500	98.175	98.191	0.64630	0.64630	1.04960	1.05000	90.985	90.995	0.59359	0.59369	111.285	111

ポジションサマリ（シミュレーション）　2024/04/17 10:57現在

通貨ペア	ポジション				評価損益	必要証拠金	発注証拠金	総必要証拠金
	売	平均価格	買	平均価格				
USD/JPY	-	-	82,000	150.941	-487,468	475,600	-	475,600
EUR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
EUR/GBP	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
AUD/NZD	-	-	21,000	1.09000	-77,217	80,241	-	80,241
NZD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
NZD/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
CAD/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
USD/CAD	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
GBP/USD	-	-	-	-	-	-	-	-
TRY/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
ZAR/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
MXN/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-

口座状況（上段：当初／下段：シミュレーション）

証拠金維持率	通貨レバレッジ	預託証拠金	評価損益	有効証拠金	必要証拠金	総必要証拠金	発注可能額
1,547 %	1.62 倍	1,117,305	20,732	1,138,037	73,559	562,528	575,509
266 %	9.38 倍	2,047,392	-564,685	1,482,707	555,841	555,841	926,866

＜注意事項＞
シミュレーション結果は参考値です。
実際の口座状況と若干の差異が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
スワップは直近の実績が変わらないものとして計算していますが、実際は市況環境等により変動します。
新規注文はシミュレーションレートが成立条件を満たすと、注文価格どおりのポジションに置き変わります。
決済注文はシミュレーションに考慮されませんのでご了承ください。
外貨建て通貨の円換算は一律シミュレーション ASKレートで計算しています。
ロスカットレート（概算）はシミュレーション画面上で現在保有するポジションのみ考慮して計算しています。

ロスカットレート（概算）
※複数通貨ペア保有の場合は算出されませんので、証拠金維持率をご確認ください

-

証拠金維持率が266%になりました。

Aさん

ポジションを最大限持って、USD/JPYが145円、AUD/NZDが1.05NZDのときに証拠金維持率が266%ということか…リスクを確認できたから実際に注文してみよう

このように、実際に注文する前のリスク管理や、
レートの動向や注文の成立状況等によって口座状況がどうなるか心配だ、
といったときにリスクシミュレーションをご活用ください。

トラリピ戦略管理を使いたい

トラリピ戦略管理って何？

トラリピ戦略管理とは、設定しているトラリピ注文を複数組み合わせて
「戦略」としてまとめて管理できるツールのことです。

「戦略」を作成すると、

★戦略の必要資金
★パフォーマンス

が確認できます。

これまでは、ハーフ&ハーフ戦略（売りと買いのトラリピ）やトラリピ戦略リスト掲載の戦略のように、
複数のトラリピ注文を組み合わせた戦略であっても、トラリピ管理表ではまとめて表示されず、
トラリピ毎に注文内容やパフォーマンスが表示されていました。
トラリピ戦略管理を活用して複数のトラリピを「戦略」として登録することで、
「戦略」毎のパフォーマンスや必要資金が一目瞭然になります。

トラリピ戦略管理の表示方法

トラリピ戦略管理は取引画面の
「トラリピ管理表」内にメニューがあります。

トラリピ戦略管理を使いたい

戦略を作成してみよう!

(1)「戦略を作成する」をタップ

(2)戦略に入れるトラリピを選んで
「作成する」をタップ

(3)作成完了!

作成した戦略は「トラリピ戦略管理」画面で確認できます。
また、作成した戦略の修正・削除も可能です。

詳細は下記操作ガイド(画像付き)でご案内しています。是非ご活用ください。

PC操作ガイド ｜ https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5657?site_domain=default
アプリの操作ガイド ｜ https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5677?site_domain=default

戦略を作る際の決めごとってあるの?

組み合わせはお客様のお好みでどうぞ!

同じ通貨ペアであれば組み合わせに制限はありません
(ただし、一つの戦略に含めるトラリピは10件までです)。

戦略は作成してもしなくても、実際の取引には影響ありません。

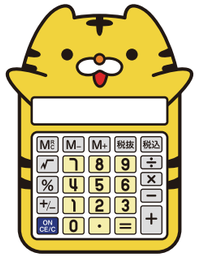
- **トラリピを複数仕掛けてて、見にくいからまとめたい**
- **通貨ペアごとに必要資金や損益のパフォーマンスを確認したい**
- **とりあえず試しに作ってみたい**

などなど、お気軽にお試しください。

トラリピ戦略管理を使いたい

想定ロスカットレート、必要資金の見方をマスター！

戦略を作ると「想定ロスカットレート」「必要資金」が表示されます。
いずれもリスク管理を適切に行ううえでとても大切な項目です。



「リスクシミュレーション」や
「トラリピのリスクを試算」でも
ロスカットレートはあるけど、
戦略のロスカットレートは
見方がちょっと違うがぅ

想定ロスカットレート　お客様ご自身で入力可！

初期値では注文レンジの上限または下限が入力されています。

- 売りトラリピのみの戦略：注文レンジ上限
- 買いトラリピのみの戦略：注文レンジ下限
- 売り買い混在の戦略：
  上のロスカットレート→注文レンジ上限
  下のロスカットレート→注文レンジ下限

戦略作成時だけでなく作成後も編集ボタンから任意の値に変更できます。
入力した値で必要資金が自動計算されます。

必要資金　自動計算！

想定ロスカットレートで想定される評価損と必要証拠金の合計金額です。

ただし、**ストップロス付のトラリピは、想定ロスカットレートではなく、ストップロスの価格で計算されています。**（P.86で詳しく解説）

ロスカットレートを
入力すると
必要資金が自動的に
計算されるがぅ

トラリピ戦略管理を使いたい

まとめると、

▶ **想定ロスカットレートの初期値は注文レンジの値が入力されている**
▶ **想定ロスカットレートは任意の値に変更できる**
▶ **必要資金は想定ロスカットレートの値で計算される（ストップロスを除く）**

ということです。

トラリピ戦略管理でリスク管理を行う場合、

ロスカットレートだけではなく
必要資金を確認する

ことが重要です。

初期値は注文レンジの上限もしくは下限が入力されているので、
「このレートまで耐えられるようにしたい」「このレートのときの必要資金を確認したい」
などの場合は、そのレートを想定ロスカットレートに入力するとよいでしょう。

なお、注文に最低限必要とされる資金は「証拠金」ですので、
「必要資金」に満たなくても「証拠金」相当額があれば注文自体は可能です。
※レート急変動等に備えて、余裕を持ったお取引をお願いします。

Q. 「必要資金」が評価損と必要証拠金を合計した金額なのはなぜですか？

A. 評価損と必要証拠金はどちらも証拠金維持率に関わる項目で、
評価損・必要証拠金が増加すると、証拠金維持率が低下します。
※100％を下回るとロスカットが執行されます。

ここで、証拠金維持率の計算式を改めてご説明します。

証拠金維持率（％）… 有効証拠金 ÷ 必要証拠金 × 100

有効証拠金とは

口座の時価の残高を表しており、預託証拠金に評価損益を加味した
金額なので、評価損の拡大が有効証拠金の減少につながります。

戦略管理では想定ロスカットレート（もしくはストップロス）の値で
評価損が計算されます。

必要証拠金とは

ポジションにかかる証拠金を表しており、
その時のレート×注文数量×証拠金率で算出されます。

戦略管理の必要資金では想定ロスカットレート（もしくはストップロス）
で必要証拠金が計算されます。

トラリピ戦略管理を使いたい

[例：買いトラリピ戦略]

USD/JPY買いトラリピ レンジ：145～155円　1本あたり1,000通貨　トラップ本数11本
USD/JPY買いトラリピ レンジ：140～150円　1本あたり1,000通貨　トラップ本数21本

想定ロスカットレート＝135円と入力した場合の必要資金

評価損

レートが135円のときに
買いポジションで発生する評価損

－375,000円

必要証拠金

135円 × 注文数量 × 証拠金率

172,800円

必要資金

547,800円

必要資金の547,800円で戦略を開始した場合、

レートが135円のときの評価損は－375,000円、
有効証拠金と必要証拠金はいずれも172,800円なので、
証拠金維持率は　100％（ 172,800円 ÷ 172,800円 × 100 ）になります。

言い換えると、**547,800円（必要資金）で戦略を開始した場合、
135円（想定ロスカットレート）まではロスカットに耐えられても、
それよりレートが下がるとロスカットが執行される**ということです。

このように、想定ロスカットレートで証拠金維持率100％になるような運用資金（目安）を
計算できるので、評価損と必要証拠金の合計金額を「必要資金」としています。

!!ご注意ください!!

「必要資金」はあくまで試算結果です。
実際のお取引では差異が生じることもありますので、
あくまで目安としてご確認ください。

- 戦略管理の必要資金は、その戦略に含まれるトラリピのみを考慮して算出しています。
- 戦略管理の必要資金はポジションを最大限保有した場合を想定して算出しています。
- 必要資金にはスワップを考慮していません。
  実際の取引ではポジションを保有するとスワップが日々累積することとなります。
- ロスカットは口座全体で計算される証拠金維持率が100％を下回ると執行されます。
  トラリピ毎や、通貨ペア毎ではございません。

トラリピ戦略管理を使いたい

ハーフ&ハーフ戦略の必要資金を確認してみよう!

同一通貨ペアでレンジ上方に売りトラリピ、レンジ下方に買いトラリピを仕掛ける戦略をハーフ&ハーフ戦略と呼んでいますが、トラリピ戦略管理で「戦略」としてまとめることで、必要資金を簡単に確認できるようになります。

[ハーフ&ハーフ戦略]

AUD/NZD売りトラリピ レンジ：1.1〜1.12NZD　1本あたり1万通貨　トラップ本数11本

AUD/NZD買いトラリピ レンジ：1.08〜1.1NZD　1本あたり1万通貨　トラップ本数11本

想定ロスカットレートは
上を1.15NZD
下を1.05NZD
としています。
（ご自身で決めたロスカットレートを入力しましょう）

トラリピ戦略管理を活用すれば、自分でロスカットレートを決めて、
その値まで耐えられる資金（必要資金）を確認できます。

必要資金は
- 売りトラリピ ⇒ 85万円
- 買いトラリピ ⇒ 81万円

と表示されていますが、ハーフ&ハーフ戦略では合計した金額ではなく、
高い方の必要資金を目安にしましょう。
（この戦略の場合は85万円）

P.23でご説明したように、同一通貨ペアで売りと買い双方の注文があるときは、
金額が高い方の証拠金のみ必要となります。

また、ハーフ&ハーフ戦略では売り・買いトラリピでレンジは重複していないため、レートが
- 売りトラリピのレンジ内にあるときは売りポジションの評価損益のみ
- 買いトラリピのレンジ内にあるときは買いポジションの評価損益のみ

となります。

売り・買いレンジの境目近辺では双方のポジションを保有（双方で評価損益が発生）
することはありますが、売り・買い双方のポジションを最大限同時に保有することはありません。

※利益値幅を広く設定されている場合や、
決済トレールもしくはレンジシフトをONにしている場合は
売り・買い双方のポジションを最大限同時に保有する可能性が
ありますのでご留意ください。

ストップロス付のトラリピを
戦略に入れる場合は
次のページを要チェックがぅ!

トラリピ戦略管理を使いたい

ストップロスを付けたトラリピが戦略に含まれる場合

ストップロス付のトラリピが含まれる戦略は必要資金、
ロスカットレートの見方に注意が必要です。

なぜかというと、ストップロス付のトラリピは**想定ロスカットレートではなく、ストップロス価格で必要資金が計算されている**からです。

[ストップロス戦略]

AUD/JPY買いトラリピ レンジ：90～100円　1本あたり1,000通貨　トラップ本数11本
ストップロス80円

AUD/JPY買いトラリピ レンジ：95～105円　1本あたり1,000通貨　トラップ本数11本
ストップロス85円

90円と表示されていますが、必要資金は90円で計算されていません！

必要資金は下記のように計算されています。

AUD/JPY買いトラリピ レンジ：90～100円　1本あたり1,000通貨　トラップ本数11本
ストップロス80円
必要資金：202,200円

80円のときの必要資金

AUD/JPY買いトラリピ レンジ：95～105円　1本あたり1,000通貨　トラップ本数11本
ストップロス85円
必要資金：202,400円

85円のときの必要資金

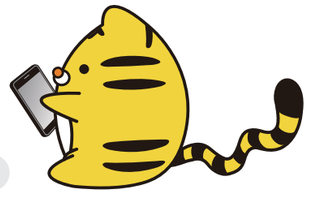
▼

2つのトラリピの必要資金を合計した**404,600円**が、この戦略の必要資金となります。
（必要資金は1万未満を切り上げて表示しているので、41万円と左図では表示しています）

このようにストップロス付のトラリピは、
ストップロス価格で必要資金が計算されていますのでご注意ください。

なお、戦略内に「ストップロス付」と「ストップロスなし」のトラリピが混在している場合、
ストップロス付はストップロス価格、ストップロスなしは想定ロスカットレートで
必要資金が計算され、その合計金額が表示されています。

ストップロス付のトラリピで組まれた戦略は
想定ロスカットレートを変えても
必要資金は変わらないがぅ



トラリピ戦略管理を使いたい

まとめ

自分が確認したい項目や運用内容に応じてリスク管理ツールを活用しよう！

トラリピのリスクを試算

＜確認できる項目＞

必要証拠金、評価損、ストップロス見積額、ロスカットレート
（運用予定額を入力）など

＜こんな人がおすすめ＞

トラリピを1つだけ運用
ハーフ&ハーフで運用

リスクシミュレーション

＜確認できる項目＞

レートを動かしたり、ポジションを持ったり決済したり、
入金出金のシミュレーションを行ったりして、
証拠金維持率の変動を確認できる

＜こんな人がおすすめ＞

複数のトラリピを運用
複数通貨ペアで運用
口座状況の変化を確認したい

実践的な
リスク管理が
できるがぅ

トラリピ戦略管理

＜確認できる項目＞

あるレート（想定ロスカットレート）のときの必要資金
リスク管理ではないけど、自分が確認したいトラリピで
戦略を作ってパフォーマンスを確認

＜こんな人がおすすめ＞

（単一通貨ペアで）複数のトラリピに係る必要資金をチェックしたい
（単一通貨ペアで）自分で決めたレートのときに係る必要資金をチェックしたい
ハーフ&ハーフ戦略に係る必要資金をチェックしたい
（複数通貨ペアで）通貨ペアごと管理して必要資金をチェックしたい

トラリピ戦略管理は、
想定ロスカットレートを決めて
必要資金を確認できるなど、
リスク管理にも活用できるツールがぅ

「トラリピ上級者になろうの巻」は以上です。
これを読みこなしてトラリピ上級者になっていただけたら幸いです。

トラリピ・パーフェクトガイドについて

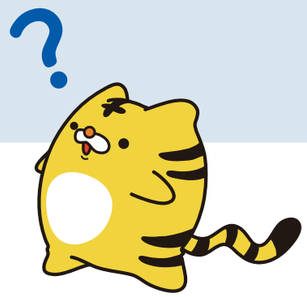
トラリピの仕組みやFXの基礎を
もういちど復習したい

▶ トラリピを注文してみるの巻

トラリピを運用しているけど
取消や修正ってできるの？

▶ トラリピをメンテナンスしようの巻

で解説していますので、ご覧ください！



最後まで読んでいただき
ありがとうがぅ

トラリピくんぬいぐるみ

■当社サービスに関しての注意事項

・取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。

・当社の店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金で取引を行うため、取引の対象となる金融商品の価格変動により、多額の利益となることもありますが、お客様が差し入れた証拠金を上回る損失が生じるおそれもあります。また、各金融市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引が不能となるおそれがあります。

・店頭外国為替証拠金取引、店頭CFD取引における取引手数料は無料です。

・当社が提示するレートには、買値と売値に差（スプレッド）があります。流動性が低くなる場合や、天変地異または戦争等による相場の急激な変動が生じた場合、スプレッドが広がることがあります。

・店頭外国為替証拠金取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合、取引総代金の4%以上です。法人のお客様の場合、取引総代金に、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの証拠金率（為替リスク想定比率）を基に当社が算出した証拠金率を乗じた金額となります。為替リスク想定比率は、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。なお、証拠金率（為替リスク想定比率）は変動いたします。店頭CFD取引に必要な証拠金額は、取引総代金の10%です。

株式会社マネースクエア

〒107-6240　東京都港区赤坂9-7-1　ミッドタウン・タワー40F
金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2797号【加入協会】日本証券業協会　一般社団法人 金融先物取引業協会

※2025年4月改訂版

MONEY SQUARE
毎日が財産になる